

**NETGEAR®**

# ユーザーマニュアル

---

## Orbi WiFi 6 Micro メッシュWiFiシステム

Orbi WiFi 6 Micro ルーター	RBR350
Orbi WiFi 6 Micro サテライト	RBS350

2020年9月  
202-12183-01

### サポートとコミュニティ

[jp.netgear.com/support](http://jp.netgear.com/support) より、製品の最新情報やダウンロードにアクセスすることができます。

またNETGEAR コミュニティ [community.netgear.com](http://community.netgear.com) では、役立つアドバイスをご提供しています。

### 規制および法律

Si ce produit est vendu au Canada, vous pouvez accéder à ce document en français canadien à <https://www.netgear.com/support/download/>.

(本製品がカナダにおいて販売される場合、本ドキュメントのカナダフランス語版には <https://www.netgear.com/support/download/> からアクセスできます)。

EU適合宣言書などの法規制遵守情報については、  
<https://www.jp.netgear.com/about/regulatory/> を参照してください。

本製品をお使いになる前に、適合性の情報をお読みください。

NETGEAR のプライバシーポリシーについては、  
<https://www.netgear.com/about/privacy-policy> をご覧ください。

このデバイスを使用することにより、お客様は  
<https://www.netgear.com/about/terms-and-conditions> にある NETGEAR の利用規約に同意したものとみなされます。同意されない場合は、返品期間内に製品を購入店まで返品してください。

### 商標

© NETGEAR, Inc.、NETGEAR、およびNETGEARのロゴはNETGEAR社の商標です。NETGEAR以外の商標は参照目的のためにのみ使用されています。

# 目次

## 第1章 概要

ルーターの概要.....	9
ルーターのハードウェア機能.....	9
ルーターの前面LEDの動作.....	10
ルーターの電源LEDの動作.....	10
サテライトの概要.....	11
サテライトのハードウェア機能.....	11
サテライトの前面LEDの動作.....	12
サテライトの電源LEDの動作.....	12
Orbiルーターの接続.....	13
サテライトを設置します.....	14
サテライトとルーターを同期します.....	14

## 第2章 ネットワークへの接続とルーターへのアクセス

ネットワークへの接続.....	16
有線接続.....	16
無線LAN接続.....	16
WPSを使用した無線LAN接続.....	17
ログインのタイプ.....	17
ルーターとサテライトのラベル.....	18
NETGEAROrbiアプリでセットアップ.....	18
Webブラウザからルーターにアクセス.....	19
自動的にインターネットをセットアップ.....	19
ルーターのWeb管理者ページにログイン.....	21
言語の変更.....	21

## 第3章 インターネット設定

セットアップウィザードを使用します.....	24
インターネット接続の手動設定.....	24
ログインを必要としないインターネット接続の指定.....	24
ログインを必要とするインターネット接続の指定.....	26
IPv6アドレスの入力要件.....	28
IPv6 インターネット接続の指定.....	28
IPv6 インターネット接続の自動検出.....	29
IPv6 インターネット接続の自動設定.....	31
IPv6 6to4トンネルインターネット接続の設定.....	33

IPv6 6rdトンネルインターネット.....	34
IPv6 パススルーインターネット接続の設定.....	36
IPv6 固定インターネット接続の設定.....	37
IPv6 DHCPインターネット接続の設定.....	39
IPv6 PPPoEインターネット接続の設定.....	41
MTUサイズの変更.....	43

## 第4章 インターネットアクセスの管理

NETGEAR Armorの管理.....	46
Orbiアプリを使用したNETGEAR Armorの有効化と管理.....	46
OrbiアプリによるNETGEAR Armorの設定.....	47
ネットワークへのアクセスの許可または禁止.....	47
キーワードを使用したインターネットサイトのブロック.....	48
インターネットサイトのブロックキーワードを削除.....	50
信頼できるPCでブロックしない.....	50
インターネットからのサービスのブロック.....	51
ネットワークのアクセス制御リストの管理.....	53
ブロックのスケジュール設定.....	54
セキュリティイベントのメール通知の設定.....	55

## 第5章 ネットワーク設定の指定

WAN設定の表示または変更.....	58
ダイナミックDNSを管理します.....	59
新しいダイナミックDNSアカウントの設定.....	60
すでに作成したDNSアカウントの指定.....	61
ダイナミックDNS設定の変更.....	62
デフォルトDMZサーバーの設定.....	62
ルーターのデバイス名を変更します.....	63
LAN TCP/IP設定の変更.....	64
ルーターをDHCPサーバーとして使用する.....	65
ルーターのDHCPサーバ機能を有効にします.....	67
予約LAN IPアドレスの管理.....	68
IPアドレスの予約.....	68
予約IPアドレスの編集.....	69
予約IPアドレスエントリの削除.....	69
カスタムの静的ルートの管理.....	70
静的ルートの設定.....	71
静的ルートの編集.....	72
静的ルートの削除.....	72
基本ワイヤレス設定.....	73
WiFiパスワードまたはセキュリティ方式を変更.....	74
ゲストWiFiネットワークの設定.....	76
高度なワイヤレス設定を表示または変更.....	77
ルーターをWiFiアクセスポイントとして使用する.....	78

ルーターモードを設定します.....	79
新しいバックホールパスワードを生成.....	80
ポートグループまたはVLANタググループのブリッジの設定.....	80
ポートグループのブリッジの設定.....	81
VLANタググループのブリッジの設定.....	82
Universal Plug and Playによるネットワーク接続の改善.....	83

## 第6章 ネットワークの管理

ファームウェアをアップデートします.....	86
ファームウェアアップデートの確認.....	86
ファームウェアの手動アップデート.....	87
サテライトファームウェアを手動でアップデートします.....	87
ファームウェアの手動アップデート.....	88
管理者パスワードの変更.....	89
管理者パスワードのリセットを有効にします.....	90
管理者パスワードのリセット.....	91
ルーターのステータスと使用状況を表示.....	92
インターネットポート統計の表示.....	92
インターネット接続ステータスの確認.....	93
サテライトのステータスを表示します.....	94
ルーターアクティビティのログの表示と管理.....	95
ネットワークに接続済みのデバイス情報の表示と編集.....	96
ネットワークに接続済みのデバイスを表示.....	96
デバイス情報を編集します.....	97
ネットワークに接続済みのサテライト情報の表示と編集.....	98
ネットワークに接続済みのサテライトを表示.....	98
サテライト情報を編集します.....	99
インターネットトラフィックの監視.....	100
タイムゾーン、夏時間、NTPサーバーの設定.....	102
ルーター設定ファイルの管理.....	102
設定のバックアップ.....	103
現在の設定を消去します.....	103
設定の復元.....	104
OrbiアプリでどこからでもOrbiネットワークにアクセス.....	104

## 第7章 ポートのインターネットトラフィックルールのカスタマイズ

ローカルサーバへのポート転送を管理.....	107
ローカルサーバへのポート転送を設定.....	107
カスタムポート転送サービスを追加.....	108
ポート転送サービスを編集.....	109
ポート転送エントリを削除.....	110

アプリケーションの例：ローカルWebサーバーを公開する...	110
ルーターがポート転送ルールを実装する方法.....	111
ポートトリガーを管理.....	112
ポートトリガーサービスを追加.....	112
ポートトリガーを有効、タイムアウト期間を変更.....	113
適用例：インターネットリレーチャットのためのポートトリガー.....	114

## 第8章 VPNを使用したネットワークへのアクセス

VPN接続の設定.....	117
VPNサービスの設定.....	117
OpenVPNソフトウェアのインストール.....	118
Windows PCのOpenVPNソフトウェアのインストール.....	118
Mac PCのOpenVPNソフトウェアのインストール.....	121
iOSデバイスのOpenVPNソフトウェアのインストール.....	122
AndroidデバイスのOpenVPNソフトウェアのインストール.....	123
Windows PCでVPNトンネルを使用.....	124
VPNで自宅のネットワークにアクセス.....	125
VPNクライアントのインターネットアクセス.....	126
ルーターでVPNクライアントのインターネットアクセスをブロック.....	127
VPNトンネル経由で自宅のインターネットサービスにアクセス..	128

## 第9章 トラブルシューティング

トラブルシューティングのヒント.....	130
ネットワークを再起動する手順.....	130
無線LAN設定.....	130
ネットワーク設定.....	130
ルーターとサテライトが同期しない.....	130
ルーターにログインできない.....	131
インターネットにアクセスできない.....	132
インターネット閲覧のトラブルシューティング.....	133
PPPoEのトラブルシューティング.....	134
無線LAN接続のトラブルシューティング.....	135
pingユーティリティを使用したネットワークのトラブルシューティング.....	135
ルーターへのLANパスをテストする.....	135
PCからリモートデバイスへのパスをテストする.....	136

## 付録 A 工場出荷時の設定と技術仕様

初期設定.....	139
Orbi WiFi 6 Microルーター (RBR350) の工場出荷時設定...	139
Orbi WiFi 6 サテライト (RBS350) の工場出荷時設定.....	141
技術仕様.....	143

## Orbi WiFi6 MicroメッシュWiFiシステム

Orbi WiFi 6 Microルーター (RBR350) の技術仕様.....	143
Orbi WiFi 6 Microサテライト (RBS350) の技術仕様.....	144

# 1

## 概要

---

Orbi WiFi 6 MicroメッシュWiFiシステムは、インターネットサービスへの高速WiFi接続を作成します。ルーター（RBR350）はONUまたはモデムなどのゲートウェイに接続します。サテライト（RBS350）は、家中のWiFi信号を拡張します。

このマニュアルでは、ルーターのWeb管理者ページからOrbi WiFi 6 MicroメッシュWiFiシステムを管理する方法について説明します。サテライトは、ルーターのWeb管理者ページから管理できます。

この章には次の内容が含まれます。

- ・ ルーターの概要
- ・ サテライトの概要
- ・ Orbiルーターの接続
- ・ サテライトを設置します
- ・ サテライトとルーターを同期します

このマニュアルに掲載されている内容の詳細については、サポートのWebサイト (<https://www.netgear.com/support/>) を参照してください。

**注意:** このマニュアルではOrbi WiFi 6 Microルーター（RBR350）をルーターと呼び、Orbi WiFi 6 Microサテライト（RBS350）をサテライトと呼びます。



# ルーターの概要

ルーターのハードウェア機能とLEDの動作の概要を以下に示します。

## ルーターのハードウェア機能

ルーターのハードウェア機能を以下に示します。

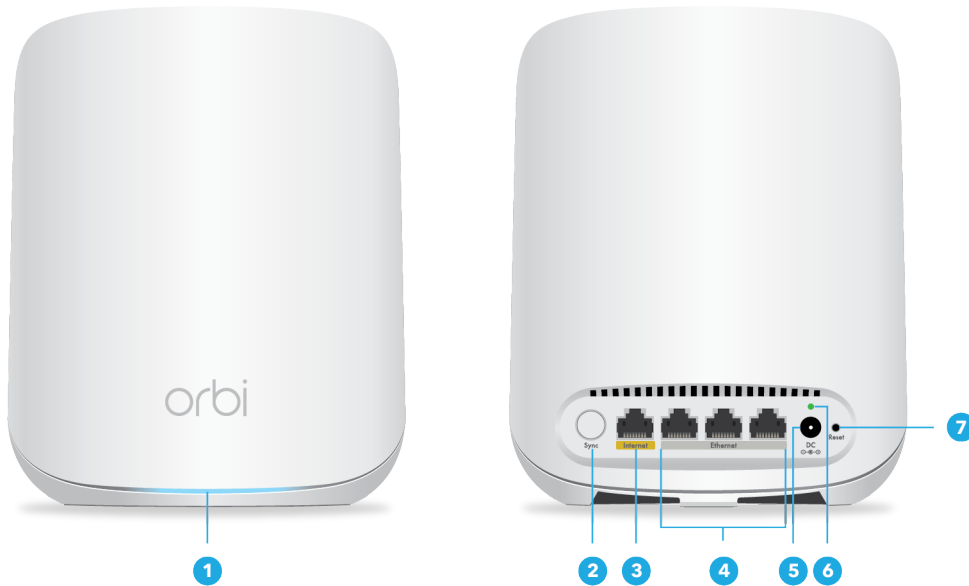


図 1: ルーターの前面と背面

1. **ルーターLED**: ルーターの前面にあるルーターLEDが点灯し、ルーターのステータスが表示されます。詳細については、「[ルーターの前面LEDの動作（10ページ）](#)」を参照してください。
2. **Syncボタン**: ルーターが自動的に同期されない場合は、Syncボタンを使用してサテライトに同期します。
3. **インターネットポート**: ONUやインターネットモデムをインターネットポートに接続します。
4. **LANポート**: これらのポートを使用して、PCやゲーム機などの有線デバイスをルーターに接続できます。
5. **電源ジャック**: 製品付属の電源アダプターを電源ジャックに接続します。

6. **電源LED**：ルーターに電源が供給されると、電源LEDが点灯します。詳細については、「[ルーターの電源LEDの動作（10ページ）](#)」を参照してください。
7. **リセットボタン**：リセットボタンを押すと、ルーターがリセットされます。リセットボタンを 10 秒以上押すと電源 LED が点滅し、ルーターの設定が初期化され工場出荷時の状態に戻ります。

## ルーターの前面LEDの動作

ルーターのLEDはルーターの前面にあります。このLEDを使用して、ルーターのステータスを確認します。

次の表に、ルーターのLEDの動作を示します。

表 1: ルーターの LED 動作

LEDの色	説明
白点滅	ルーターが起動中か、Syncボタンが押されました。
白点灯	ルーターは工場出荷時の状態に初期化中です。
マゼンタ点灯	ルーターが有効なインターネット接続を検出できません。
消灯	ルーターの起動が完了し、正常に動作しています。

## ルーターの電源LEDの動作

電源LEDはルーターの背面にあります。

次の表に、ルーターの電源LEDの動作を示します。

表 2: ルーターの電源LEDの動作

LEDの色	説明
緑点灯	電源はオンです。
オレンジ点滅	ルーターは工場出荷時の状態に初期化中です。
赤点滅	ルーターのファームウェアが破損しています。
消灯	ルーターの電源はオフになっています。

# サテライトの概要

サテライトのハードウェア機能とLEDの動作の概要を以下に示します。

## サテライトのハードウェア機能

サテライトのハードウェア機能を以下に示します。

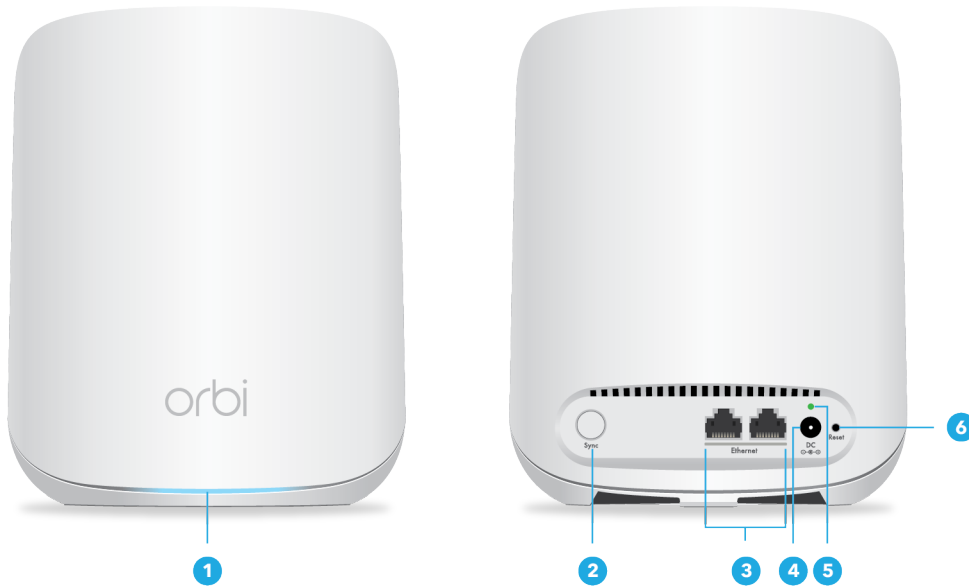


図 2: サテライトの前面と背面

1. **サテライトLED**：サテライトのLEDが点灯し、サテライトのステータスが表示されます。詳細については、「サテライトの前面LEDの動作（12ページ）」を参照してください。
2. **Syncボタン**：自動同期が行われない場合は、Syncボタンを使用してサテライトをルーターに同期します。
3. **LANポート**：これらのポートを使用して、PCやゲーム機などの有線デバイスをサテライトに接続できます。
4. **電源ジャック**：製品パッケージに付属の電源アダプターを電源ジャックに接続します。
5. **電源LED**：サテライトに電源が供給されると、電源LEDが点灯します。詳細については、「サテライトの電源LEDの動作（12ページ）」を参照してください。
6. **リセットボタン**：リセットボタンを押すと、サテライトがリセットされます。リセットボタンを10秒以上押したまま電源LEDが点滅すると、サテライトは工場出荷時の設定に戻ります。

## サテライトの前面LEDの動作

サテライトLEDはサテライトの前面にあります。このLEDを使用して、サテライトのステータスを確認します。

次の表に、サテライトLEDの動作を示します。

表 3: サテライトの LED 動作

LEDの色	説明
白点滅	サテライトは起動中か、Orbiルーターとの同期を試みています。
青	サテライトとルーター間の接続状態は良好です。 LEDは3分間青色に点灯し、その後消灯します。
オレンジ	サテライトとルーター間の接続状態は普通です。 LEDは3分間オレンジ色に点灯し、その後消灯します。
マゼンタ	サテライトはルーターに同期できませんでした。
消灯	サテライトはルーターと同期し、正常に動作しています。

## サテライトの電源LEDの動作

電源LEDはサテライトの背面にあります。

次の表に、サテライトの電源LEDの動作を示します。

表 4: サテライト電源LEDの動作

LEDの色	説明
緑点灯	電源はオンです。
オレンジ点滅	サテライトは工場出荷時の状態に初期化中です。
赤点滅	サテライトのファームウェアが破損しています。
消灯	サテライトに電力が供給されていません。

# Orbiルーターの接続

ルーターの電源を入れ、モデムに接続します。



図3:ルーターを接続します

## ルーターのケーブルを接続する：

1. モデムの電源をオフにします。モデムがすでに別のルーターに接続されている場合は、モデムとルーターの間に接続されているLANケーブルを外します。モデムにはインターネットサービスの壁の差し込み口にのみケーブルが接続されているようにします。
2. モデムに電源コードを接続し、電源を入れます。
3. 製品付属のLANケーブルを使用して、ルーターのインターネットポートとゲートウェイを接続します。
4. ルーターに電源コードを接続します。
5. 電源LEDが点灯しない場合は、電源アダプターが正しく接続されていることを確認してください。

# サテライトを設置します

サテライトは、ルーターと同期できるように、ルーターのWiFiの範囲内にある必要があります。サテライトの前面にあるサテライトLEDを使用して、サテライトの設置場所を確認します。

## サテライトとルーターを同期します

ルーターとサテライトのセットモデルは、工場出荷時の状態で自動的に同期するように設定されています。

### サテライトを同期する:

1. サテライトを設置します。  
詳細については、「[サテライトを設置します](#)（14ページ）」を参照してください。
2. サテライトを電源に接続します。  
サテライト LED が白色に点滅します。ルーターのWiFiが自動的に検出され、ルーターとの同期が試行されます。  
サテライトLEDは、次のいずれかの色で点灯します。
  - ・ 青 : Orbiルーターとサテライトの同期が完了しました。接続状態は良好です。
  - ・ オレンジ: ルーターとの接続は普通です。サテライトをルーターの近くに移動して、もう一度試してください。
3. サテライトLEDがマゼンタ色に点灯している場合は、次の手順に従います。
  - a. サテライトの電源を切り、サテライトをルーターの近くに移動します。
  - b. サテライトを接続し直し、LEDが青またはオレンジになるまで2分間待ちます。
4. サテライトLEDがまだ青またはオレンジに点灯しない場合は、次の手順に従います。
  - a. ルーターの背面にある**Sync**ボタンを押します。
  - b. 2分以内に、サテライト背面の**Sync**ボタンを押します。
  - c. LEDが青またはオレンジになるまで2分間待ちます。

# 2

## ネットワークへの接続とルーターへのアクセス

---

この章には次の内容が含まれます。

- ・ ネットワークへの接続
- ・ ログインのタイプ
- ・ ルーターとサテライトのラベル
- ・ NETGEAR Orbiアプリでセットアップ
- ・ Webブラウザからルーターにアクセス
- ・ 言語の変更

# ネットワークへの接続

有線または無線でOrbiネットワークに接続することができます。固定IPアドレスを使用するように子機を設定している場合は、DHCPを使用するように設定を変更します。

## 有線接続

子機とルーターを有線で接続し、ルーターのローカルエリアネットワーク（LAN）に接続することができます。PCにはLANポートが必要です。

**子機とルーターを有線で接続します。**

1. ルーターの電源が入っていること（電源LEDが点灯していること）を確認します。
2. LANケーブルを子機のLANポートに接続します。
3. LANケーブルのもう片方をルーターのLANポートに接続します。

## 無線LAN接続

ルーターを初めて設置する場合は、モバイルデバイスでルーター本体のQRコードをスキャンして、ルーターのWiFiネットワークに接続できます。カメラアプリでQRコードをスキャンするには、モバイルデバイスにiOSバージョン11以降またはAndroidバージョン10以降がインストールされている必要があります。

ルーターのWiFiネットワークは、WiFi対応のPCまたはモバイルデバイスから手動で検索して選択することもできます。

**手動で無線LANネットワークを探して接続します。**

1. ルーターまたはサテライトに電力が供給されていることを確認します。
2. 無線LAN対応のPCまたはモバイルデバイスで、無線LANのネットワークを見つけて選択します。

WiFiネットワーク名はルーター本体のラベルに記載されています。WiFiネットワーク名はOrbi WiFiシステムのルーターとサテライトで同じです。

**注意:** ルーターとサテライトを別々に購入した場合、デフォルトのWiFiネットワーク名は異なります。

3. ネットワークキー（パスワード）を入力します。  
パスワードはルーター本体のラベルに記載されています。



無線LAN対応PCまたはモバイルデバイスが無線LANネットワークに接続されます。

## WPSを使用した無線LAN接続

無線でルーターに接続するには、WPS (Wi-Fi Protected Setup) を使用するか、または手動でルーターのネットワークを選択して接続します。

**WPSを使用してネットワークに接続します。**

1. ルーターの電源が入っていること（電源LEDが点灯していること）を確認します。
2. 無線LAN子機のWPS手順を確認します。
3. ルーター本体のSyncボタンを押します。
4. 2分以内に、無線LAN対応PCまたはモバイルデバイスの**WPS**ボタンを押すか、WPS接続の手順に従います。

PCまたはモバイルデバイスが無線LANネットワークに接続されます。

## ログインのタイプ

目的に応じて異なるログインの種類があります。それぞれの違いを理解して、いつどのログインを使用するのかを判断することが重要です。

ログインのタイプ:

- ・ **プロバイダーログイン:** インターネットサービスプロバイダー (ISP) から郵送などで送られてくるログイン情報を使用して、インターネットサービスにログインします。ログイン情報が見つからない場合は、プロバイダーにお問い合わせください。
- ・ **WiFiネットワーク名とパスワード:** ルーターとサテライトは、WiFiアクセス用に同じWiFiネットワーク名 (SSID) とパスワード (ネットワークキー) でプリセットされています。この情報は、ルーターとサテライト本体のラベルに記載されています。
- ・ **NETGEARアカウント ログイン:** ルーターの登録とサブスクリプションの管理に必要な無料のNETGEARアカウント。NETGEARアカウントをお持ちでない場合はOrbiアプリを使用してアカウントを作成できます。
- ・ **管理者ページへのログイン:** 管理者としてウェブブラウザからルーターのWeb管理者ページにログインします。

## ルーターとサテライトのラベル

ルーターとサテライト本体のラベルには、MACアドレスとシリアル番号が表示されます。また、セットアップ中にスキャンしてOrbiネットワークに接続するためのQRコードも記載されています。次に、ルーターとサテライトのラベルの例を示します。

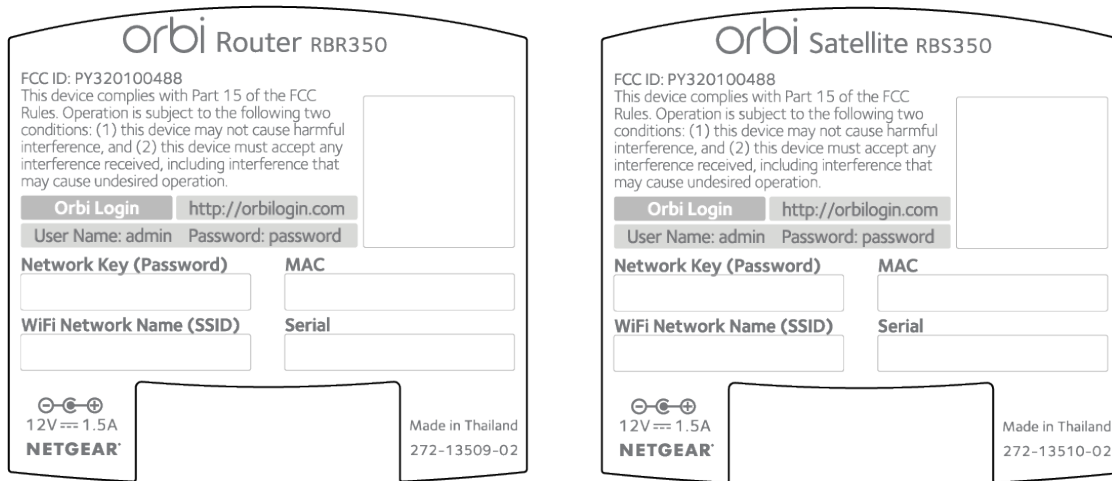


図 4: ルーターラベル (左) およびサテライトラベル (右)

## NETGEAR Orbiアプリでセットアップ

NETGEAR Orbiアプリを使用して、Orbiネットワークをセットアップし、Orbiネットワークにアクセスできます。

アプリを見つけるには、QRコードをスキャンするか、Apple App StoreまたはGoogle Playストアで「NETGEAR Orbi」を検索します。

Orbiアプリの詳細については、<https://www.netgear.com/home/apps-services/orbi-app>を参照してください。



**注意:** NETGEAR Orbi アプリを使用しない場合は、ルーターのWeb管理者ページからOrbi をセットアップできます。ルーターの管理者ページへのアクセス方法については、[Webブラウザからルーターにアクセス](#)（19ページ）を参照してください。

**OrbiアプリでOrbi WiFiシステムをセットアップします。**

1. Orbiアプリをモバイルデバイスにダウンロードします。
2. モバイルデバイスで、WiFi設定を開きます。
3. Orbi WiFiネットワークにモバイルデバイスを接続します。  
WiFiネットワーク名とパスワードはルーター本体のラベルに記載されています。WiFiパスワードはセットアップ後でも変更できます。
4. Orbiアプリを起動し、画面の案内にしたがってセットアップします。

## Webブラウザからルーターにアクセス

WebブラウザからルーターのWeb管理者ページにアクセスし、設定の確認や変更ができます。工場出荷時から初めてアクセスすると、セットアップウィザードが開始されインターネットに接続できるかどうかを自動的に確認します。

## 自動的にインターネットをセットアップ

ルーターは自動的に設定することも、Webブラウザを使用してルーターにアクセスし、ルーターを手動で設定することもできます。セットアップ手順を開始する前に、プロバイダー情報を入手し、ネットワーク上の無線LAN子機がここで説明するとおりの設定を使用していることを確認します。

インターネットサービスを開始するとき、インターネットに接続するために必要なすべての情報は、通常、プロバイダーから提供されます。DSLサービスの場合は、ルーターをセットアップするために次の情報が必要になることがあります。

- ・ プロバイダーのアカウント情報
- ・ プロバイダーのログイン名とパスワード
- ・ 固定または静的IPアドレス設定（プロバイダーによりごく稀に必要になります）

この情報が確認できない場合は、プロバイダーにお問い合わせください。インターネット接続が有効であれば、インターネットにアクセスするためにプロバイダーのログインプログラムを起動する必要はなくなります。

インストールおよび基本セットアップは完了するまでに15分程度かかります。

**ルーターを自動的に設定します。**

1. ルーターの電源をオンにします。
2. WiFi対応PCまたはモバイルデバイスが、LANケーブル（有線）またはWiFiでルーターに接続されていることを確認します。

**注意:** ルーターの無線LAN設定を変更する場合は、有線接続を使用してください。これは、新しい無線LAN設定が有効になるときに無線LAN接続が切断されることを避けるためです。

3. Webブラウザを起動します。  
表示されるページは、以前にルーターにアクセスしたことがあるかどうかによって異なります。

- ・ ルーターのインターネット接続を初めて設定すると、ブラウザは「**orbilogin.com**」に移動し、Orbiのログインページが表示されます。
- ・ インターネット接続の設定が完了している場合は、ブラウザのアドレス欄に「**orbilogin.com**」と入力してインストールプロセスを開始します。

4. 画面に表示される指示に従います。  
ルーターはインターネットに接続します。

5. ブラウザーにWebページが表示されない場合は、次の操作を実行します。

- ・ PCが4つのLANポートのいずれかに接続されているか、またはWiFiを経由してルーターに接続されていることを確認します。
- ・ ルーターの電源が入っていること、および電源LEDが点灯していることを確認します。
- ・ ブラウザーを閉じて開き直すか、またはブラウザのキャッシュをクリアします。
- ・ **orbilogin.com** にアクセスします。
- ・ PCが静的または固定IPアドレスに設定されている場合は、IPアドレスをルーターから自動的に取得するように変更します。

6. ルーターがインターネットに接続していない場合は、次の操作を行います。
  - a. 設定を確認します。
  - b. 適切なオプションを選択していて、すべてを正しく入力していることを確認します。
  - c. プロバイダーに問い合わせ、正しい設定情報を使用していることを確認します。

- d. 「トラブルシューティング（129ページ）」を参照します。

問題が解決しない場合は、ユーザー登録の上、NETGEARのテクニカルサポートまでお問い合わせください。

## ルーターのWeb管理者ページにログイン

Orbiにログインすると、ルーターのWeb管理者ページがブラウザに表示されます。ルーターのWebインターフェイスを使用して、ルーターまたはサテライトの設定を変更できます。

**Orbiルーター管理者ページにログインします。**

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターの管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。

## 言語の変更

Web管理者ページの言語を変更することができます。

**言語を変更します。**

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターの管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 右上隅にあるメニューから言語を選択します。

5. メッセージが表示されたら、**[OK]** ボタンをクリックします。  
選択した言語でページが更新されます。

# 3

## インターネット設定

---

通常は、ルーターのセットアップ時にインターネット接続を設定すると、簡単にインターネットを利用できるようになります。また、手動でインターネット設定を行うこともできます。

この章には次の内容が含まれます。

- ・ セットアップウィザードを使用します
- ・ インターネット接続の手動設定
- ・ IPv6アドレスの入力要件
- ・ MTUサイズの変更

# セッアップウィザードを使用します

セッアップウィザードを使用してインターネット設定を検出し、ルーターを自動的にセッアップできます。

**セッアップウィザードを使用します。**

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザーを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「高度」>「セッアップウィザード」を選択します。  
「セッアップウィザード」ページが表示されます。
5. 「はい」ラジオボタンを選択します。  
「いいえ」を選択した場合は、「インターネット設定」ページに移動します（インターネット接続の手動設定（24ページ）を参照）。
6. 「次へ」ボタンをクリックします。  
セッアップウィザードは、サーバーとプロトコルに使用しているインターネット接続を検索し、ISP設定を特定して操作モードを確認します。

## 7. インターネット接続の手動設定

ルーターのインターネット接続設定を表示または変更することができます。

### ログインを必要としないインターネット接続の指定

**インターネット接続設定を指定します。**

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザーを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。



ログインウィンドウが開きます。

3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. **[インターネット]** を選択します。  
「インターネット設定」ページが表示されます。
5. 「お使いのインターネット接続はログインを必要としていますか?」では **[いいえ]** ラジオボタンを選択したままにします。
6. インターネット接続にアカウント名またはホスト名が必要な場合は、**[アカウント名(必要時のみ)]** の欄に入力します。
7. インターネット接続にドメイン名が必要な場合は、**[ドメイン名(必要時のみ)]** の欄に入力します。  
ページ内の他のセクションは、通常、デフォルト設定のままで機能しますが、変更することもできます。
8. **[インターネットIPアドレス]** ラジオボタンを選択します。
  - ・ **プロバイダーから自動取得**: プロバイダーはDHCPを使用してIPアドレスを割り当てます。これらのアドレスは、プロバイダーによって自動的に割り当てられます。
  - ・ **IPアドレスを指定(固定)**: プロバイダーから割り当てられたIPアドレス、IPサブネットマスク、ゲートウェイIPアドレスを入力します。ゲートウェイは、お使いのルーターの接続先となるプロバイダーのルーターです。
9. **[ドメインネームサーバー (DNS) アドレス]** ラジオボタンを選択します。
  - ・ **プロバイダーから自動取得**: プロバイダーはDHCPを使用してDNSサーバーを割り当てます。このアドレスは、プロバイダーによって自動的に割り当てられます。
  - ・ **DNSサーバーを指定(固定)**: プロバイダーから特定のサーバーを要求されることが分かっている場合は、このオプションを選択します。プロバイダーのプライマリDNSサーバーのIPアドレスを入力します。セカンダリDNSサーバーのアドレスを利用できる場合は、それも入力します。

10. [ルーターMACアドレス] ラジオボタンを選択します。
  - ・ **デフォルトのアドレスを使う**：デフォルトのMACアドレスを使用します。
  - ・ **コンピューターのMACアドレスを使用**：ルーターは、現在使用中のPCのMACアドレスを取得し、使用します。プロバイダーから許可されたPCを使用する必要があります。
  - ・ **このMACアドレスを使用**：使用したいMACアドレスを入力します。
11. [適用] ボタンをクリックします。  
設定が保存されます。
12. [テスト] ボタンをクリックしてインターネット接続をテストします。

## ログインを必要とするインターネット接続の指定

### インターネット設定を表示または変更します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの [基本] の [ホーム] ページが表示されます。
4. [インターネット] を選択します。  
[インターネット設定] ページが表示されます。
5. [お使いのインターネット接続はログインを必要としていますか?] で **[はい]** ラジオボタンを選択します。  
ページの表示が変更されます。
6. [インターネットサービスプロバイダー] ドロップダウンリストで、カプセル化の方法を選択します。  
選択肢は **[PPPoE]**、**[PPTP]**、**[L2TP]** です。
7. [ログイン] 欄に、プロバイダーから提供されたログイン名を入力します。

通常、このログイン名はメールアドレスです。

8. **[パスワード]** 欄に、インターネットサービスへのログインに使用するパスワードを入力します。
9. プロバイダーからサービス名を提供された場合は、**[サービス名(必要時のみ)]** 欄に入力します。
10. **[接続モード]** ドロップダウンリストで、**[常時接続]**、**[要求に応じダイヤル]**、または**[手動接続]** を選択します。
11. インターネットのログインがタイムアウトするまでの時間（分）を変更するには、**[アイドルタイムアウト(分)]** 欄に時間（分）を入力します。

これは、ネットワーク上でだれもインターネット接続を使用していないときにルーターがインターネット接続を維持しておく時間です。0（ゼロ）の値は、ログアウトしないことを意味します。

12. **[インターネットIPアドレス]** ラジオボタンを選択します。
  - ・ **プロバイダーから自動取得**: プロバイダーはDHCPを使用してIPアドレスを割り当てます。これらのアドレスは、プロバイダーによって自動的に割り当てられます。
  - ・ **IPアドレスを指定(固定)**: プロバイダーから割り当てられたIPアドレス、IPサブネットマスク、ゲートウェイIPアドレスを入力します。ゲートウェイは、お使いのルーターの接続先となるプロバイダーのルーターです。
13. **[ドメインネームサーバー (DNS)]** のラジオボタンを選択します。
  - ・ **プロバイダーから自動取得**: プロバイダーはDHCPを使用してDNSサーバーを割り当てます。このアドレスは、プロバイダーによって自動的に割り当てられます。
  - ・ **DNSサーバーを指定(固定)**: プロバイダーから特定のサーバーを要求されることが分かっている場合は、このオプションを選択します。プロバイダーのプライマリDNSサーバーのIPアドレスを入力します。セカンダリDNSサーバーのアドレスを利用できる場合は、それも入力します。
14. **[ルーターMACアドレス]** ラジオボタンを選択します。
  - ・ **デフォルトのアドレスを使う**: デフォルトのMACアドレスを使用します。
  - ・ **コンピューターのMACアドレスを使用**: ルーターは、現在使用中のPCのMACアドレスを取得し、使用します。プロバイダーから許可されたPCを使用する必要があります。
  - ・ **このMACアドレスを使用**: 使用したいMACアドレスを入力します。

15. **[適用]** ボタンをクリックします。  
設定が保存されます。
16. **[テスト]** ボタンをクリックしてインターネット接続をテストします。

## IPv6アドレスの入力要件

IPv6アドレスは、4つの16進数を一組とした8つのグループをコロンで区切って表されます。IPv6アドレス内の4桁がゼロのグループは、1つのゼロにまとめたり、すべて省略したりできます。次のエラーがあるとIPv6アドレスは無効になります。

- ・ 4桁の16進数のグループが9つ以上ある
- ・ 1つのグループに16進数の英数字が5つ以上ある
- ・ コロンが3つ以上続いている

## IPv6インターネット接続の指定

ルーターでIPv6インターネット接続が自動的に検出されない場合は、これを設定することができます。

### IPv6インターネット接続を設定します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの**[基本]**の**[ホーム]**ページが表示されます。
4. **[高度]** > **[高度な設定]** > **[IPv6]** を選択します。  
**[IPv6]** ページが表示されます。

5. **[インターネット接続タイプ]** ドロップダウンリストで、IPv6の接続タイプを選択します。
  - ・ 不明な場合は、**[自動検出]** を選択するとルーターが使用中のIPv6タイプを検出します。
  - ・ インターネット接続でPPPoE、DHCP、固定IPを使用せず、IPv6を使用している場合は、**[自動設定]** を選択します。  
この情報はご利用のプロバイダーから提供してもらうことができます。  
IPv6インターネット接続についての詳細は、次のセクションを参照してください。
  - ・ [IPv6インターネット接続の自動検出](#) (29ページ)
  - ・ [IPv6インターネット接続の自動設定](#) (31ページ)
  - ・ [IPv6 6rdトンネルインターネット接続の設定](#) (34ページ)
  - ・ [IPv6 6to4トンネルインターネット接続の設定](#) (33ページ)
  - ・ [IPv6パススルーインターネット接続の設定](#) (36ページ)
  - ・ [IPv6固定インターネット接続の設定](#) (37ページ)
  - ・ [IPv6 DHCPインターネット接続の設定](#) (39ページ)
  - ・ [IPv6 PPPoEインターネット接続の設定](#) (41ページ)
6. **[適用]** ボタンをクリックします。  
設定が保存されます。

## IPv6インターネット接続の自動検出

自動検出を使用してIPv6インターネット接続を設定します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザーを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの**[基本]** の**[ホーム]** ページが表示されます。
4. **[高度]** > **[高度な設定]** > **[IPv6]** を選択します。

[IPv6] ページが表示されます。

5. **[インターネット接続タイプ]** ドロップダウンリストで、**[自動検出]** を選択します。

ページの表示が変更されます。

以下の欄の情報がルーターによって自動的に検出されます。

- ・ **接続タイプ**: この欄は、検出された接続タイプを示します。
- ・ **ルーターのIPv6アドレス(WAN側)**: この欄には、ルーターのWAN（またはインターネット）インターフェイス用に取得したIPv6アドレスが表示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6アドレスの下にあるアンダーライン ( ) によっても示されます。アドレスが取得されない場合、この欄には [利用不可] と表示されます。
- ・ **ルーターのIPv6アドレス(LAN側)**: この欄には、ルーターのLANインターフェイス用に取得したIPv6アドレスが表示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6アドレスの下にあるアンダーライン ( ) によっても示されます。アドレスが取得されない場合、この欄には [利用不可] と表示されます。

6. **[IPアドレスの割り当て]** オプションボタンを選択します。

- ・ **DHCPサーバーを使う**: この方法では、LAN上のデバイスに詳細情報を渡しますが、IPv6システムによってはDHCPv6クライアント機能をサポートしていない場合があります。
- ・ **自動設定**: これはデフォルトの設定です。

この設定により、ルーターでIPv6アドレスをLAN上の機器に割り当てる方法が指定されます。

7. (オプション) **[このインターフェイスIDを使う]** チェックボックスを選択し、ルーターのLANインターフェイスのIPv6アドレスに使用するインターフェイスIDを指定します。

ここでIDを指定しない場合、ルーターはMACアドレスから自動的にIDを生成します。

8. **[IPv6フィルタリング]** オプションボタンを選択します。

- ・ **安全**: デフォルトのセキュアモードでは、ルーターはTCPパケットとUDPパケットの両方を検査します。
- ・ **オープン**: オープンモードでは、ルーターはUDPパケットだけを検査します。

9. **[適用]** ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

## IPv6インターネット接続の自動設定

自動設定を使用してIPv6インターネット接続を設定します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「高度」>「高度な設定」>「IPv6」を選択します。  
「IPv6」ページが表示されます。
5. 「インターネット接続タイプ」ドロップダウンリストで、「自動設定」を選択します。  
ページの表示が変更されます。  
以下の欄の情報がルーターによって自動的に検出されます。
  - ・ **ルーターのIPv6アドレス(WAN側)**: この欄には、ルーターのWAN（またはインターネット）インターフェイス用に取得したIPv6アドレスが表示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6アドレスの下にあるアンダーライン ( ) によっても示されます。アドレスが取得されない場合、この欄には「利用不可」と表示されます。
  - ・ **ルーターのIPv6アドレス(LAN側)**: この欄には、ルーターのLANインターフェイス用に取得したIPv6アドレスが表示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6アドレスの下にあるアンダーライン ( ) によっても示されます。アドレスが取得されない場合、この欄には「利用不可」と表示されます。
6. (オプション) 「DHCPユーザークラス (必要時のみ)」欄に、ホスト名を入力します。  
ほとんどの場合、この欄は空白のままにできますが、プロバイダーから特定のホスト名を提供された場合はここに入力します。
7. (オプション) 「DHCPドメイン名 (必要時のみ)」欄に、ドメイン名を入力します。

ご利用のIPv6プロバイダーのドメイン名を入力できます。ここにはIPv4プロバイダーのドメイン名を入力しないでください。例えば、ご利用のプロバイダーのメールサーバーがmail.xxx.yyy.zzzである場合は、「xxx.yyy.zzz」をドメイン名として入力します。プロバイダーからドメイン名を提供されている場合は、それをこの欄に入力します。例えば、Earthlink Cableではホームのホスト名が必要であり、Comcastではドメイン名が提供されることがあります。

8. **[IPv6ドメインネームサーバー (DNS) アドレス]** のラジオボタンを選択します。

- ・ **プロバイダーから自動取得**: プロバイダーはDHCPを使用してDNSサーバーを割り当てます。このアドレスは、プロバイダーによって自動的に割り当てられます。
- ・ **DNSサーバーを指定 (固定)**: プロバイダーから特定のサーバーを要求されることが分かっている場合は、このオプションを選択します。プロバイダーのプライマリDNSサーバーのIPアドレスを入力します。セカンダリDNSサーバーのアドレスを利用できる場合は、それも入力します。

9. **[IPアドレスの割り当て]** オプションボタンを選択します。

- ・ **DHCPサーバーを使う**: この方法では、LAN上のデバイスに詳細情報を渡しますが、IPv6システムによってはDHCPv6クライアント機能をサポートしていない場合があります。
- ・ **自動設定**: これはデフォルトの設定です。

10. (オプション) **[このインターフェイスIDを使う]** チェックボックスを選択し、ルーターのLANインターフェイスのIPv6アドレスに使用するインターフェイスIDを指定します。

ここでIDを指定しない場合、ルーターはMACアドレスから自動的にIDを生成します。

11. **[IPv6フィルタリング]** オプションボタンを選択します。

- ・ **安全**: デフォルトのセキュアモードでは、ルーターはTCPパケットとUDPパケットの両方を検査します。
- ・ **オープン**: オープンモードでは、ルーターはUDPパケットだけを検査します。

12. **[適用]** ボタンをクリックします。

設定が保存されます。



## IPv6 6to4トンネルインターネット接続の設定

リモートリレールーターとは、ルーターによる6to4トンネルの作成先となるルーターです。IPv6接続に6to4トンネル設定を適用する前に、IPv4インターネット接続が機能していることを確認します。

**6to4トンネルを使用してIPv6インターネット接続を設定します。**

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザーを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「**高度**」>「**高度な設定**」>「**IPv6**」を選択します。  
「IPv6」ページが表示されます。
5. 「**インターネット接続タイプ**」ドロップダウンリストで、「**6to4トンネル**」を選択します。  
ページの表示が変更されます。  
「ルーターのIPv6アドレス（LAN側）」欄の情報はルーターによって自動的に検出されます。この欄には、ルーターのLANインターフェイス用に取得したIPv6アドレスが表示されます。スラッシュ（/）の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6アドレスの下にあるアンダーライン（\_）によっても示されます。アドレスが取得されない場合、この欄には「利用不可」と表示されます。
6. 「**リモート6to4リレールーター**」ラジオボタンを選択します。
  - ・ **自動**: ルーターはインターネット上で利用可能な任意のリモートリレールーターを使用します。これはデフォルトの設定です。
  - ・ **静的IPアドレス**: リモートリレールーターの静的IPv4アドレスを入力します。このアドレスは通常、IPv6プロバイダーから提供されます。

## 7. [IPv6DNSアドレス]のラジオボタンを選択します。

- ・ **プロバイダーから自動取得**: プロバイダーはDHCPを使用してDNSサーバーを割り当てます。このアドレスは、プロバイダーによって自動的に割り当てられます。
- ・ **DNSサーバーを指定 (固定)**: プロバイダーから特定のサーバーを要求されることが分かっている場合は、このオプションを選択します。プロバイダーのプライマリDNSサーバーのIPアドレスを入力します。セカンダリDNSサーバーのアドレスを利用できる場合は、それも入力します。

## 8. [IPアドレスの割り当て]オプションボタンを選択します。

- ・ **DHCPサーバーを使う**: この方法では、LAN上のデバイスに詳細情報を渡しますが、IPv6システムによってはDHCPv6クライアント機能をサポートしていない場合があります。
- ・ **自動設定**: これはデフォルトの設定です。

この設定は、ルーターがホームネットワーク上のデバイスにIPv6アドレスを割り当てる方法を指定します。

## 9. (オプション) [このインターフェイスIDを使う] チェックボックスを選択し、ルーターのLANインターフェイスのIPv6アドレスに使用するインターフェイスIDを指定します。

ここでIDを指定しない場合、ルーターはMACアドレスから自動的にIDを生成します。

## 10. [IPv6フィルタリング]オプションボタンを選択します。

- ・ **安全**: デフォルトのセキュアモードでは、ルーターはTCPパケットとUDPパケットの両方を検査します。
- ・ **オープン**: オープンモードでは、ルーターはUDPパケットだけを検査します。

## 11. [適用] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

## IPv6 6rdトンネルインターネット接続の設定

6rdプロトコルを使うと、サービスプロバイダーのIPv4ネットワークを使用するサイトにIPv6を導入することができます。6rdでは、サービスプロバイダー独自のIPv6アドレスプレフィックスを使用します。このため、6rdの運用範囲はサービスプロバイダーのネットワークに限定され、サービスプロバイダーの直接的な管理下に置かれます。提供されるIPv6サービスはネイティブのIPv6と同じです。6rdのメカニズムは、サービスプ

ロバイダーのネットワーク内で使用するよう割り当てられるIPv6アドレスとIPv4アドレスの間のアルゴリズムマッピングに依存しています。このマッピングにより、IPv6プレフィックスからIPv4のトンネルエンドポイントを自動的に判別することが可能になり、6rdのステートレスな運用ができます。

6rd トンネルインターネット設定では、ルーターはRFC5969標準に従い、6rdトンネルのIPv6WAN接続を確立する2つの方法をサポートします。

- ・ **自動検出モード:** IPv6の自動検出モードでは、ルーターがDHCPv4オプションからオプション212を受信すると、自動検出によってIPv6が6rdのトンネル設定として選択されます。ルーターは、6rdのオプションの情報をを使用して6rdの接続を確立します。
- ・ **手動モード:** [6rd] を選択します。ルーターがオプション212を受信した場合、欄は自動的に入力されます。それ以外の場合は、6rdの設定を入力する必要があります。

### IPv6 6rdトンネルインターネット接続を設定する:

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの[基本]の[ホーム]ページが表示されます。
4. [高度]>[高度な設定]>[IPv6] を選択します。  
[IPv6] ページが表示されます。
5. [インターネット接続タイプ] ドロップダウンリストで、[6rd] を選択します。  
ページの表示が変更されます。  
ルーターは、次のセクションの情報を自動的に検出します。
  - ・ **6rd (IPv6 Rapid Development) の設定:** ルーターはサービスプロバイダーのIPv4ネットワークを検出し、IPv6 6rdトンネル接続を確立しようとします。IPv4ネットワークからルーターに6rdパラメーターが返された場合は、ページの表示が変更されてこのセクションに正しい設定が表示されます。
  - ・ **ルーターのIPv6アドレス (LAN側):** この欄には、ルーターのLANインターフェイス用に取得したIPv6アドレスが表示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6アドレスの下にあるアンダーライン ( ) によっても示されます。アドレスが取得されない場合、この欄には[利用不可]と表示されます。

6. [IPv6ドメインネームサーバー (DNS) アドレス] のラジオボタンを選択します。

- ・ **プロバイダーから自動取得**: プロバイダーはDHCPを使用してDNSサーバーを割り当てます。このアドレスは、プロバイダーによって自動的に割り当てられます。
- ・ **DNSサーバーを指定 (固定)**: プロバイダーから特定のサーバーを要求されることが分かっている場合は、このオプションを選択します。プロバイダーのプライマリDNSサーバーのIPアドレスを入力します。セカンダリDNSサーバーのアドレスを利用できる場合は、それも入力します。

7. [IPアドレスの割り当て]オプションボタンを選択します。

- ・ **DHCPサーバーを使う**: この方法では、LAN上のデバイスに詳細情報を渡しますが、IPv6システムによってはDHCPv6クライアント機能をサポートしていない場合があります。
- ・ **自動設定**: これはデフォルトの設定です。

この設定は、ルーターがホームネットワーク上のデバイスにIPv6アドレスを割り当てる方法を指定します。

8. (オプション) [このインターフェイスIDを使う] チェックボックスを選択し、ルーターのLANインターフェイスのIPv6アドレスに使用するインターフェイスIDを指定します。

ここでIDを指定しない場合、ルーターはMACアドレスから自動的にIDを生成します。

9. [IPv6フィルタリング]オプションボタンを選択します。

- ・ **安全**: デフォルトのセキュアモードでは、ルーターはTCPパケットとUDPパケットの両方を検査します。
- ・ **オープン**: オープンモードでは、ルーターはUDPパケットだけを検査します。

10. [適用] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

## IPv6パススルーインターネット接続の設定

パススルーモードでは、ルーターは、IPv6パケット用の2つのポート（LANポートとWANポート）を搭載したレイヤー2イーサネットスイッチとして機能します。ルーターは、IPv6ヘッダーパケットを処理しません。

### IPv6 パススルーインターネット接続を設定します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「高度」>「高度な設定」>「IPv6」を選択します。  
「IPv6」ページが表示されます。
5. 「インターネット接続タイプ」ドロップダウンリストで、「パススルー」を選択します。  
ページの表示が変更されますが、追加の欄は表示されません。
6. 「適用」ボタンをクリックします。  
設定が保存されます。

## IPv6固定インターネット接続の設定

### IPv6固定インターネット接続を設定します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「高度」>「高度な設定」>「IPv6」を選択します。  
「IPv6」ページが表示されます。
5. 「インターネット接続タイプ」ドロップダウンリストで、「固定」を選択します。

ページの表示が変更されます。

6. インターネット接続の固定IPv6アドレスを設定します。

- ・ **IPv6アドレス/プレフィックス長**: ルーターのWANインターフェ이스のIPv6アドレスとプレフィックス長です。
- ・ **デフォルトIPv6ゲートウェイ**: ルーターのWANインターフェ이스のデフォルトIPv6ゲートウェイのIPv6アドレスです。
- ・ **プライマリDNS**: ルーターのIPv6ドメイン名レコードを解決するプライマリDNSサーバーです。
- ・ **セカンダリDNS**: ルーターのIPv6ドメイン名レコードを解決するセカンダリDNSサーバーです。

**注意:** DNSサーバーを指定しない場合、ルーターは、[インターネット設定] ページでIPv4インターネット接続用に設定されているDNSサーバーを使用します(「インターネット接続の手動設定 (24ページ)」を参照してください)。

7. [IPアドレスの割り当て]オプションボタンを選択します。

- ・ **DHCPサーバーを使う**: この方法では、LAN上のデバイスに詳細情報を渡しますが、IPv6システムによってはDHCPv6クライアント機能をサポートしていない場合があります。
- ・ **自動設定**: これはデフォルトの設定です。

この設定は、ルーターがホームネットワーク上のデバイスにIPv6アドレスを割り当てる方法を指定します。

8. [IPv6アドレス/プレフィックス長] で、ルーターのLANインターフェ이스の静的IPv6アドレスとプレフィックス長を設定します。

ここでIDを指定しない場合、ルーターはMACアドレスから自動的にIDを生成します。

9. [IPv6フィルタリング]オプションボタンを選択します。

- ・ **セキュア**: デフォルトのセキュアモードでは、ルーターはTCPパケットとUDPパケットの両方を検査します。
- ・ **オープン**: オープンモードでは、ルーターはUDPパケットだけを検査します。

10. [適用] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

## IPv6 DHCPインターネット接続の設定

DHCPサーバーを使用してIPv6インターネット接続を設定します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「[基本]」の「[ホーム]」ページが表示されます。
4. 「[高度]>[高度な設定]>[IPv6]」を選択します。  
「[IPv6]」ページが表示されます。
5. 「[インターネット接続タイプ]」ドロップダウンリストで、「[DHCP]」を選択します。  
ページの表示が変更されます。  
以下の欄の情報がルーターによって自動的に検出されます。
  - ・ **ルーターのIPv6アドレス(WAN側)**: この欄には、ルーターのWAN（またはインターネット）インターフェイス用に取得したIPv6アドレスが表示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6アドレスの下にあるアンダーライン ( ) によっても示されます。アドレスが取得されない場合、この欄には「[利用不可]」と表示されます。
  - ・ **ルーターのIPv6アドレス(LAN側)**: この欄には、ルーターのLANインターフェイス用に取得したIPv6アドレスが表示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6アドレスの下にあるアンダーライン ( ) によっても示されます。アドレスが取得されない場合、この欄には「[利用不可]」と表示されます。
6. 「[IPv6ドメインネームサーバー (DNS) アドレス]」のラジオボタンを選択します。
  - ・ **プロバイダーから自動取得**: プロバイダーはDHCPを使用してDNSサーバーを割り当てます。このアドレスは、プロバイダーによって自動的に割り当てられます。
  - ・ **DNSサーバーを指定 (固定)**: プロバイダーから特定のサーバーを要求されることが分かっている場合は、このオプションを選択します。プロバイダーのプライマ

リDNSサーバーのIPアドレスを入力します。セカンダリDNSサーバーのアドレスを利用できる場合は、それも入力します。

7. (オプション)[**ユーザークラス (必要時のみ)**] 欄に、ホスト名を入力します。

ほとんどの場合、この欄は空白のままにできますが、プロバイダーから特定のホスト名を提供された場合はここに入力します。

8. (オプション)[**ドメイン名 (必要時のみ)**] 欄に、ドメイン名を入力します。

ご利用のIPv6プロバイダーのドメイン名を入力できます。ここにはIPv4プロバイダーのドメイン名を入力しないでください。例えば、ご利用のプロバイダーのメールサーバーがmail.xxx.yyy.zzzである場合は、「xxx.yyy.zzz」をドメイン名として入力します。プロバイダーからドメイン名を提供されている場合は、それをこの欄に入力します。例えば、Earthlink Cableではホームのホスト名が必要であり、Comcastではドメイン名が提供されることがあります。

9. [**IPアドレスの割り当て**]オプションボタンを選択します。

- ・ **DHCPサーバーを使う**：この方法では、LAN上のデバイスに詳細情報を渡しますが、IPv6システムによってはDHCPv6クライアント機能をサポートしていない場合があります。
- ・ **自動設定**：これはデフォルトの設定です。

この設定により、ルーターでIPv6アドレスをLAN上の機器に割り当てる方法が指定されます。

10. (オプション) [**このインターフェイスIDを使う**] チェックボックスを選択し、ルーターのLANインターフェイスのIPv6アドレスに使用するインターフェイスIDを指定します。

ここでIDを指定しない場合、ルーターはMACアドレスから自動的にIDを生成します。

11. [**IPv6フィルタリング**]オプションボタンを選択します。

- ・ **安全**：デフォルトのセキュアモードでは、ルーターはTCPパケットとUDPパケットの両方を検査します。
- ・ **オープン**：オープンモードでは、ルーターはUDPパケットだけを検査します。

12. [**適用**] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。



## IPv6 PPPoEインターネット接続の設定

PPPoE IPv6インターネット接続を設定します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「**高度**」>「**高度な設定**」>「**IPv6**」を選択します。  
「IPv6」ページが表示されます。
5. 「**インターネット接続タイプ**」ドロップダウンリストで、「**PPPoE**」を選択します。  
ページの表示が変更されます。  
以下の欄の情報がルーターによって自動的に検出されます。
  - ・ **ルーターのIPv6アドレス(WAN側)**: この欄には、ルーターのWAN（またはインターネット）インターフェイス用に取得したIPv6アドレスが表示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6アドレスの下にあるアンダーライン ( ) によっても示されます。アドレスが取得されない場合、この欄には「利用不可」と表示されます。
  - ・ **ルーターのIPv6アドレス(LAN側)**: この欄には、ルーターのLANインターフェイス用に取得したIPv6アドレスが表示されます。スラッシュ (/) の後の数字はプレフィックスの長さであり、IPv6アドレスの下にあるアンダーライン ( ) によっても示されます。アドレスが取得されない場合、この欄には「利用不可」と表示されます。
6. 「**ログイン**」欄に、プロバイダー接続のログイン情報を入力します。  
これは通常、メールアドレスで使用する名前です。例えば、お使いの主要メールアドレスがJerAB@ISP.comである場合は、この欄に「JerAB」と入力します。一部のISPでは、ログイン時に完全なメールアドレスが要求される場合があります。ISPで完全なメールアドレスが必要な場合は、この欄にそのアドレスを入力します。
7. 「**パスワード**」に、プロバイダー接続のパスワードを入力します。
8. 「**サービス名**」に、サービス名を入力します。

プロバイダーからサービス名を提供されていない場合は、この欄を空白のままにします。

**注意:** [接続モード] のデフォルト設定は、安定したIPv6接続を保つために [常時接続] になっています。ルーターが接続を終了することはありません。例えばモデムの電源が切れて接続が終了した場合、ルーターは、PPPoE接続が再び使用可能になるとすぐに接続の再確立を試みます。

9. [IPv6ドメインネームサーバー (DNS) アドレス] のラジオボタンを選択します。

- ・ **プロバイダーから自動取得:** プロバイダーはDHCPを使用してDNSサーバーを割り当てます。このアドレスは、プロバイダーによって自動的に割り当てられます。
- ・ **DNSサーバーを指定 (固定):** プロバイダーから特定のサーバーを要求されることが分かっている場合は、このオプションを選択します。プロバイダーのプライマリDNSサーバーのIPアドレスを入力します。セカンダリDNSサーバーのアドレスを利用できる場合は、それも入力します。

10. [IPv6アドレスの割り当て] オプションボタンを選択します。

- ・ **DHCPサーバーを使う:** この方法では、LAN上のデバイスに詳細情報を渡しますが、IPv6システムによってはDHCPv6クライアント機能をサポートしていない場合があります。
- ・ **自動設定:** これはデフォルトの設定です。

この設定により、ルーターでIPv6アドレスをLAN上の機器に割り当てる方法が指定されます。

11. (オプション) [このインターフェイスIDを使う] チェックボックスを選択し、ルーターのLANインターフェイスのIPv6アドレスに使用するインターフェイスIDを指定します。

ここでIDを指定しない場合、ルーターはMACアドレスから自動的にIDを生成します。

12. [IPv6フィルタリング] オプションボタンを選択します。

- ・ **安全:** デフォルトのセキュアモードでは、ルーターはTCPパケットとUDPパケットの両方を検査します。
- ・ **オープン:** オープンモードでは、ルーターはUDPパケットだけを検査します。

13. [適用] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

# MTUサイズの変更

MTUは、ネットワークデバイスが転送する最大データパケットを指します。あるネットワークデバイスがインターネットを介して別のネットワークデバイスと通信する場合、データパケットは途中多数のデバイスを経由していきます。この経由点にある機器で使用するMTU設定が他の機器より低い場合、データパケット分割またはフラグメンテーション（断片化）され、最小MTUの機器と通信できるようになります。

ほとんどのNETGEARの機器に最適なMTUはデフォルト値です。状況によっては、この値を変更するとある問題は解決されますが、別の問題が生じる可能性もあります。次のような状況が発生した場合を除き、MTUは変更しないでください。

- ・ プロバイダーまたは別のインターネットサービスに接続中に問題が発生し、プロバイダーまたはNETGEARのテクニカルサポートからMTU設定の変更が推奨された場合。例えば、安全なWebサイトが開かない、またはWebページの一部しか表示されない場合は、MTUを変更する必要があります。
- ・ VPNを使用しており、重大なパフォーマンス上の問題が発生している場合。
- ・ パフォーマンス向上のためにMTUを最適化するプログラムを使用し、これによって接続またはパフォーマンスに問題が発生した場合。

**注意:** MTU設定が正しくないと、インターネットの通信に問題が発生する可能性があります。例えば、特定のWebサイト、Webサイト内のフレーム、セキュリティで保護されたログインページ、FTPまたはPOPサーバーにアクセスできなくなることがあります。

## MTUサイズを変更します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「高度」>「設定」>「WAN設定」を選択します。  
「WAN設定」ページが表示されます。
5. 「MTUサイズ」欄に、64～1500の値を入力します。

## 6. [適用] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

MTUの問題が懸念される場合、一般的な解決策としてMTUを1400に変更します。試してみる場合は、MTUを最大値の1500から問題が解消するまで徐々に下げることができます。次の表に、一般的なMTUサイズと用途を示します。

表 5: 一般的なMTUサイズ

MTU	用途
1500	イーサネットフレームの最大サイズ。この設定は、PPPoEまたはVPNを使用しない接続で一般的でありデフォルト値です。
1492	PPPoE環境で使用。
1472	pingに使用する最大サイズ(これより大きなパケットは断片化されます)。
1468	一部のDHCP環境で使用。
1436	PPTP環境で、またはVPNで使用。
576	ダイヤルアップでプロバイダーに接続する際の一般的な値。

# 4

## インターネットアクセスの管理

---

インターネットからの望ましくない侵入からホームネットワークを保護するようにルーターを設定することができます。

この章には次の内容が含まれます。

- ・ NETGEAR Armorの管理
- ・ ネットワークへのアクセスの許可または禁止
- ・ キーワードを使用したインターネットサイトのブロック
- ・ インターネットサイトのブロックキーワードを削除
- ・ 信頼できるPCでブロックしない
- ・ インターネットからのサービスのブロック
- ・ ネットワークのアクセス制御リストの管理
- ・ ブロックのスケジュール設定
- ・ セキュリティイベントのメール通知の設定

# NETGEAR Armorの管理

ルーターには、ビルドインのセキュリティ機能に加えて、NETGEAR Armorのサブスクリプションが含まれています。

サブスクリプションを開始すると、NETGEAR Armorは、潜在的なサイバー脅威からホームネットワークを保護し、完全なデータ保護、高度な脅威防御、Webカメラ保護、マルチレイヤーランサムウェア保護、フィッシング対策、安全なファイル、安全な閲覧、レスキューモード、不正対策、盗難対策を提供します。さらにNETGEAR Armorには、複数のパフォーマンスツールとプライバシーツールが用意されています。

NETGEAR Armorは、WindowsベースのPC、MacOS、iOS、Androidデバイスの機能をサポートします。

NETGEAR Armorの詳細については、  
<https://www.jp.netgear.com/landings/armor//landings/armor/default.aspx> を参照してください。

OrbiアプリからNETGEAR Armorを管理できます。

## Orbiアプリを使用したNETGEAR Armorの有効化と管理

NETGEAR Armorは、ネットワークだけでなく個々のデバイスも保護する高度なマルチレイヤーサイバーセキュリティソリューションです。NETGEAR Armorは、ウイルス、スパイウェア、ハッカー、スパム、フィッシングからデバイスを保護します。

NETGEAR Armorの詳細については、  
<https://www.jp.netgear.com/landings/armor//landings/armor/default.aspx> を参照してください。

NETGEAR Orbiアプリを使用して、NETGEAR Armorを有効化および管理します。

### Orbiアプリを使用してArmorを有効化します。

1. Orbiアプリを起動します。  
ダッシュボードが表示されます。
2. [セキュリティ] をタップします。  
Armorページが表示されます。
3. 画面の指示に従ってArmorをセットアップします。

## OrbiアプリによるNETGEAR Armorの設定

Orbiアプリを使用してNETGEAR Armorの設定を表示または変更します。

1. Orbiアプリを起動します。  
ダッシュボードが表示されます。
2. [セキュリティ] をタップします。  
Armorページが表示されます。  
設定を表示または変更できるようになります。

## ネットワークへのアクセスの許可または禁止

アクセス制御を使用して、ネットワークへのアクセスを阻止することができます。

アクセス制御を設定します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの [基本] の [ホーム] ページが表示されます。
4. [高度] > [セキュリティ] > [アクセス制御] を選択します。  
リストが表示されます。
5. [アクセス制御を有効にする] チェックボックスを選択します。  
アクセスルールを指定して [許可] ボタンと [禁止] ボタンを使用するには、このチェックボックスを選択する必要があります。このチェックボックスのチェックを外すと、デバイスが禁止リストに含まれていても、すべてのデバイスに接続が許可されます。

6. アクセスルールを選択します。

- ・ **すべての新しいデバイスに接続を許可**：この設定の場合、新しく購入したデバイスをお使いのネットワークにアクセスさせることができます。機器のMACアドレスをこのページに入力する必要はありません。このラジオボタンは選択されたままにすることを推奨します。
- ・ **すべての新しいデバイスの接続を禁止**：この設定の場合、新しく購入したデバイスをお使いのネットワークにアクセスさせる前に、許可リスト内の有線接続と無線LAN接続に対してデバイスのMACアドレスを入力する必要があります。

アクセスルールは、以前に禁止または許可されたデバイスには影響しません。アクセスルールは、これらの設定の適用後に、ネットワークに接続するデバイスにのみ適用されます。

7. 現在使用しているPCやデバイスのネットワークアクセスを変更するには、該当するPCやデバイスの横にあるチェックボックスを選択し、[許可] ボタンや [禁止] ボタンをクリックします。
8. アクセスが許可されているデバイスまたはアクセスが阻止されているデバイスで未接続のデバイスのリストを表示するには、以下のいずれかのリンクをクリックします。

- ・ **現在ネットワークに接続されていない、許可されたデバイスのリストを表示する**
- ・ **現在ネットワークに接続されていない、ブロックされたデバイスのリストを表示する**

リストが表示されます。

9. [適用] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

## キーワードを使用したインターネットサイトのブロック

キーワードを使用して、お使いのネットワークで特定のインターネットサイトをブロックすることができます。常にブロックしたり、スケジュールに基づいてブロックしたりできます。



## インターネットサイトをブロックします。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「高度」>「セキュリティ」>「ブロックサイト」を選択します。  
「ブロックサイト」ページが表示されます。
5. キーワードでブロックする際のオプションを選択します。
  - ・ **スケジュール指定**: 設定したスケジュールに基づいて、キーワードでのブロックをオンにします。（「ブロックのスケジュール設定（54ページ）」を参照してください）。
  - ・ **常時**: スケジュールとは関係なく、常にキーワードブロックを有効にします。
6. 「ここにキーワードまたはドメイン名を入力します。」の欄に、ブロックしたいキーワードまたはドメインを入力します。  
次に例を示します。
  - ・ `http://www.badstuff.com/xxx.html` をブロックする場合は、XXXを指定します。
  - ・ `.edu`や`.gov`などのドメインサフィックスがあるサイトだけを許可したい場合は、`.com`を指定します。
  - ・ すべてのインターネットアクセスをブロックするには、ピリオド（`.`）を入力します。
7. 「**キーワードの追加**」ボタンをクリックします。  
キーワードがキーワードリストに追加されます。キーワードリストは、最大32個まで追加することができます。
8. 「**適用**」ボタンをクリックします。  
キーワードでのブロックが有効になります。

# インターネットサイトのブロックキーワードを削除

インターネットサイトをブロックするために使用するキーワードを削除します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「**高度**」>「**セキュリティ**」>「**ブロックサイト**」を選択します。  
「**ブロックサイト**」ページが表示されます。
5. 以下のいずれかを実行します。
  - ・ 1つの単語を削除するには、その単語を選択し、「**キーワードの削除**」ボタンをクリックします。  
キーワードがリストから削除されます。
  - ・ リストのすべてのキーワードを削除するには、「**リストの消去**」ボタンをクリックします。  
すべてのキーワードがリストから削除されます。
6. 「**適用**」ボタンをクリックします。  
設定が保存されます。

## 信頼できるPCでブロックしない

1台の信頼できるPCでのブロックを除外することができます。除外するPCには、固定IPアドレスを割り当てる必要があります。予約IPアドレス機能を使用してそのIPアドレスを指定できます。「予約LAN IPアドレスの管理（68ページ）」を参照してください。

信頼できるPCを指定します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「**高度**」>「**セキュリティ**」>「**ブロックサイト**」を選択します。  
「**ブロックサイト**」ページが表示されます。
5. 下にスクロールして、「**信頼できるIPアドレスにブロックサイトへのアクセスを許可する**」チェックボックスを選択します。
6. 「**信頼できるIPアドレス**」欄に、信頼できるPCのIPアドレスを入力します。
7. 「**適用**」ボタンをクリックします。  
設定が保存されます。

## インターネットからのサービスのブロック

インターネットサービスは、サービスのタイプに基づいてネットワークでブロックすることができます。サービスは常にブロックしたり、スケジュールに基づいてブロックしたりできます。

サービスをブロックします。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。

4. **[高度]>[セキュリティ]>[禁止サービス]** を選択します。  
[ブロックサービス] ページが表示されます。
5. サービスをブロックするタイミングを指定します。
  - ・ 常にサービスをブロックするには、**[常時]** ラジオボタンを選択します。
  - ・ スケジュールに基づいてサービスをブロックするには、**[スケジュール指定]** ラジオボタンを選択します。
  - ・ ケジュールを指定する方法については、「**ブロックのスケジュール設定** (54ページ)」を参照してください。
6. **[追加]** ボタンをクリックします。  
[ブロックサービスの設定] ページが表示されます。
7. **[サービスタイプ]** ドロップダウンリストにあるサービスを追加するには、アプリケーションまたはサービスを選択します。  
このサービスの設定は、自動的に各欄に表示されます。
8. ドロップダウンリストにないサービスまたはアプリケーションを追加するには、**[ユーザー定義]** を選択します。
  - a. アプリケーションがTCPかUDPのどちらを使用するか分かる場合は、**[プロトコル]** のドロップダウンリストでどちらか適切なほうを選択してください。  
分からない場合は、**[TCP/UDP]** を選択します。
  - b. 開始ポートと終了ポートの番号を入力します。
    - ・ サービスで1つのポート番号を使用する場合は、その番号を両方の欄に入力します。
    - ・ サービスまたはアプリケーションで使用するポート番号を知るには、アプリケーションの提供者に問い合わせるか、インターネットで調べることができます。

9. サービスをフィルタリングする方法を指定するには、次のいずれかのラジオボタンを選択します。
  - ・ **このIPアドレスのみ**: 1台のPCのサービスをブロックします。
  - ・ **IPアドレス範囲**: ネットワーク上の連続するIPアドレスを持つ、一定の範囲のPCのサービスをブロックします。
  - ・ **すべてのIPアドレス**: ネットワーク上のすべてのPCのサービスをブロックします。
10. **[追加]** ボタンをクリックします。  
設定が保存されます。

## ネットワークのアクセス制御リストの管理

アクセス制御を使用して、ネットワークへのアクセスを禁止または許可することができます。

**許可またはブロックされたデバイスを管理します。**

1. Orbi ネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの**[基本]** の**[ホーム]** ページが表示されます。
4. **[高度] > [セキュリティ] > [アクセス制御]** を選択します。  
リストが表示されます。
5. **[アクセス制御を有効にする]** チェックボックスを選択します。
6. **[現在ネットワークに接続されていない、許可されたデバイスのリストを表示する]** リンクをクリックします。  
リストが表示されます。
7. デバイスのチェックボックスを選択します。

8. 必要に応じて、[追加] ボタン、[編集] ボタン、[リストから削除する] ボタンを使用します。
9. [適用] ボタンをクリックします。  
設定が保存されます。

## ブロックのスケジュール設定

ブロックのスケジュールを設定する場合は、サイトのブロックとサービスのブロックに同じスケジュールを使用します。ルーターのブロック対象を指定する方法については、キーワードを使用したインターネットサイトのブロック（48ページ）およびインターネットからのサービスのブロック（51ページ）を参照してください。

**ブロックのスケジュールを設定します。**

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの [基本] の [ホーム] ページが表示されます。
4. [高度] > [セキュリティ] > [スケジュール] を選択します。
5. キーワードとサービスをブロックするタイミングを指定します。
  - ・ **ブロックする曜日**: キーワードをブロックする曜日のチェックボックスを選択するか、[毎日] チェックボックスを選択し、すべての曜日のチェックボックスを自動的に選択します。
  - ・ **ブロックする時間帯**: 24時間表記で開始時刻と終了時刻を選択するか、24時間ブロックする場合は [終日] を選択します。
6. [適用] ボタンをクリックします。  
設定が保存されます。

# セキュリティイベントのメール通知の設定

ルーターアクティビティのログをメールでルーターから受け取ることができます。ログには、ルーターアクティビティと、ブロックされているサイトまたはサービスにアクセスしようとしたセキュリティイベントが記録されます。

**メール通知を設定します。**

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「**高度**」>「**セキュリティ**」>「**メール**」を選択します。  
「メール」ページが表示されます。
5. 「**メール通知を有効にする**」チェックボックスを選択します。
6. 「**プライマリメールアドレス**」に、ログおよび警告の送信先となるメールアドレスを入力します。  
このメールアドレスは、差出人アドレスにも使用されます。この欄が空白の場合は、ログメッセージと警告メッセージは送信されません。
7. 「**送信メールサーバー**」に、プロバイダーの送信（SMTP）メールサーバーの名前を入力します（mail.myISP.comなど）。  
この情報は、メールソフトの設定ウィンドウに表示される場合があります。この欄を空白のままにした場合は、ログメッセージと警告メッセージは送信されません。
8. 「**送信メールサーバーポート番号**」に、メールサーバーのポート番号を入力します。この情報は、メールソフトの設定ウィンドウに表示される場合があります。

9. 送信メールサーバーで認証が必要な場合は、**[メールサーバーの認証]** チェックボックスを選択し、以下の操作を実行します。
  - ・ **[ユーザー名]** 欄に、送信メールサーバーのユーザー名を入力します。
  - ・ **[パスワード]** 欄に、送信メールサーバーのパスワードを入力します。
10. 警告をただちに送信する場合は、**[すぐに警告を送信]** チェックボックスを選択します。

誰かがブロックされているサイトにアクセスしようとする、メールによる警告がすぐに送信されます。
11. スケジュールに基づいてログを送信するには、以下の設定を指定します。
  - ・ **[スケジュールに基づきログを送信]** ドロップダウンリストから、スケジュールタイプを選択します。
  - ・ **[日]** ドロップダウンリストから、曜日を選択します。
  - ・ **[時刻]** ドロップダウンリストから時刻を選択し、**[a.m.]** または **[p.m.]** ラジオボタンを選択します。
12. **[適用]** ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

ログが自動的に送信されます。指定した時刻の前にログがいっぱいになった場合、そのログは送信されます。そのログは送信後にルーターのメモリから消去されます。ルーターがログをメール送信できずにログバッファがいっぱいになった場合、ログが上書きされます。



# 5

## ネットワーク設定の指定

---

この章には次の内容が含まれます。

- ・ WAN設定の表示または変更
- ・ ダイナミックDNSを管理します
- ・ デフォルトDMZサーバーの設定
- ・ ルーターのデバイス名を変更します
- ・ LAN TCP/IP設定の変更
- ・ ルーターをDHCPサーバーとして使用する
- ・ ルーターのDHCPサーバ機能を有効にします
- ・ 予約LAN IPアドレスの管理
- ・ カスタムの静的ルートの管理
- ・ 基本ワイヤレス設定
- ・ WiFiパスワードまたはセキュリティ方式を変更
- ・ ゲストWiFiネットワークの設定
- ・ 高度なワイヤレス設定を表示または変更
- ・ ルーターをWiFiアクセスポイントとして使用する
- ・ ルーターモードを設定します
- ・ 新しいバックホールパスワードを生成
- ・ ポートグループまたはVLANタググループのブリッジの設定
- ・ Universal Plug and Playによるネットワーク接続の改善

# WAN設定の表示または変更

WAN設定を表示または設定できます。非武装地帯（DMZ）サーバーの設定、MTUサイズの変更、WAN（インターネット）ポートに対するルーターのpingへの応答有効化などを行うことができます。

**WAN設定を表示します。**

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. **[高度] > [設定] > [WAN設定]** を選択します。  
[WAN設定] ページが表示されます。
5. 次の設定を表示または変更します。
  - ・ **ポートスキャンとDoS保護を無効にする**：DoS保護では、SYN flood攻撃、Smurf攻撃、Ping of Death (PoD)、その他多くの攻撃からLANを保護します。特殊な状況でのみ、このチェックボックスを選択してください。
  - ・ **デフォルトDMZサーバー**：この機能は、オンラインゲームまたはビデオ会議で役立つことがあります。ファイアウォールのセキュリティが低下します。「デフォルトDMZサーバーの設定（62ページ）」を参照してください。
  - ・ **インターネットポートへのPingに応答する**：ルーターの検出を許可します。診断ツールとしてのみ、または特別な理由がある場合のみ、この機能を使用してください。
  - ・ **IGMPプロキシを無効にする**：IGMPプロキシを使用すると、ローカルエリアネットワーク（LAN）上のPCが、対象となるマルチキャストトラフィックをインターネットから受信できるようになります。この機能が不要な場合は、このチェックボックスを選択して無効にします。
  - ・ **MTUサイズ (バイト)**：ほとんどのイーサネットネットワークの場合、通常のMTU値は1500バイト、PPPoE接続の場合は1492バイトです。プロバイダー接続で必要

なことが確実な場合のみ、MTUを変更してください。「[MTUサイズの変更（43ページ）](#)」を参照してください。

- ・ **NATフィルタ**: ネットワークアドレス変換 (NAT) は、ルーターが受信トラフィックを処理する方法を決定します。[安全] なNATは、LAN上のコンピューターをインターネットからの攻撃から保護しますが、一部のインターネットゲーム、ポイントツーポイントアプリケーション、マルチメディアアプリケーションが動作しなくなることがあります。[オープン] なNATは、ファイアウォールの安全性が大幅に低下しますが、ほぼすべてのインターネットアプリケーションが動作できます。
- ・ **SIP ALGを無効にする**: SIP (Session Initiation Protocol) のALG (application-level gateway) はデフォルトで有効になっていて、強化されたアドレスおよびポート変換を実現します。ただし、SIP ALGが有効な場合、一部のVoIPおよびビデオトラフィックがうまく動作しないことがあります。このため、SIP ALGを無効にするオプションがルーターに用意されています。

## 6. [適用] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

# ダイナミックDNSを管理します

プロバイダーは、各インターネットアカウントを識別するために、IPアドレスと呼ばれる番号を割り当てます。ほとんどのプロバイダーは動的に割り当てられたIPアドレスを使用します。つまり、IPアドレスはいつでも変更される可能性があるということです。IPアドレスを使用してネットワークにリモートアクセスすることはできますが、大半のユーザーは、自分のIPアドレスが何か、いつこの番号が変更されるかを知りません。

より簡単に接続できるように、ドメイン名を使用してホームネットワークにアクセスできるようにするダイナミックDNSサービスの無料アカウントを取得することができます。このアカウントを使用するには、ダイナミックDNSを使用するようにルーターを設定します。これで、ルーターのIPアドレスが変更されたときには必ずダイナミックDNSサービスプロバイダーに通知されるようになります。ダイナミックDNSアカウントにアクセスすると、ホームネットワークの現在のIPアドレスが検索され、自動的に接続されます。

プロバイダーがプライベートIPアドレス (192.168.x.x、10.x.x.xなど) を割り当てる場合、プライベートアドレスはインターネット上でルーティングされないため、ダイナミックDNSサービスを使用できません。

## 新しいダイナミックDNSアカウントの設定

ダイナミックDNSを設定し、無料のNETGEARアカウントに登録します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「高度」>「高度な設定」>「ダイナミックDNS」を選択します。  
「ダイナミックDNS」ページが表示されます。
5. 「ダイナミックDNSサービスを利用する」チェックボックスを選択します。
6. 「サービスプロバイダ」ドロップダウンリストで、「**NETGEAR**」を選択します。
7. 「いいえ」を選択します。
8. 「ホスト名」の欄に、URLに使用する名前を入力します。  
ホスト名は、ドメイン名と呼ばれることもあります。無料のURLは、指定したホスト名を含み、mynetgear.comで終わります。例えば、MyName.mynetgear.comと指定します。
9. 「メール」の欄に、アカウントに使用するメールアドレスを入力します。
10. 「パスワード (6~32文字)」の欄に、アカウントのパスワードを入力します。
11. 利用規約とプライバシーポリシーに同意するには、「登録」ボタンの上にあるチェックボックスをオンにします。
12. 「登録」ボタンをクリックします。
13. 画面に表示される指示に従って、NETGEARダイナミックDNSサービスを登録します。
14. ルーターでダイナミックDNSが有効であることを確認するには、「ステータスを確認」ボタンをクリックします。  
メッセージにダイナミックDNSのステータスが表示されます。

## すでに作成したDNSアカウントの指定

NETGEAR、No-IP、またはDynでダイナミックDNSアカウントをすでに所有している場合は、アカウントを使用するようにルーターを設定できます。

**すでにアカウントを作成した場合にダイナミックDNSを設定します。**

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「**高度**」>「**高度な設定**」>「**ダイナミックDNS**」を選択します。  
「**ダイナミックDNS**」ページが表示されます。
5. 「**ダイナミックDNSサービスを利用する**」チェックボックスを選択します。
6. 「**サービスプロバイダ**」ドロップダウンリストで、プロバイダーを選択します。
7. 「**はい**」ラジオボタンを選択します。  
ページが変更され、「**状態を表示**」、「**キャンセル**」、「**適用**」ボタンが表示されます。
8. 「**ホスト名**」の欄に、アカウントのホスト名（ドメイン名と呼ばれることもあります）を入力します。
9. No-IPアカウントまたはDynアカウントの場合は、「**ユーザー名**」フィールドにアカウントのユーザー名を入力します。
10. No-IPのNETGEARアカウントの場合は、「**メール**」の欄に、アカウントのメールアドレスを入力します。
11. 「**パスワード (6～32文字)**」の欄に、DDNSアカウントのパスワードを入力します。
12. 「**適用**」ボタンをクリックします。  
設定が保存されます。
13. ルーターでダイナミックDNSサービスが有効であることを確認するには、「**状態を表示**」ボタンをクリックします。

メッセージにダイナミックDNSのステータスが表示されます。

## ダイナミックDNS設定の変更

設定を変更します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「高度」>「高度な設定」>「ダイナミックDNS」を選択します。  
「ダイナミックDNS」ページが表示されます。
5. 必要に応じてDDNSアカウント設定を変更します。
6. 「適用」ボタンをクリックします。  
設定が保存されます。

## デフォルトDMZサーバーの設定

デフォルトDMZサーバー機能は、NATと互換性のないオンラインゲームやビデオ会議アプリケーションを使用しているときに便利です。ルーターは、このようなアプリケーションの一部を認識して正しく処理するようにプログラムされていますが、正しく機能しないアプリケーションもあります。ローカルPCのIPアドレスをデフォルトDMZサーバーとして入力していれば、そのPCでアプリケーションを正しく実行できる場合もあります。

DMZサーバーにはセキュリティ上のリスクがあります。デフォルトDMZサーバーとして指定されたPCは、ファイアウォールの保護を失い、インターネットの危険にさらされることになります。万が一障害が発生すると、DMZサーバーのPCはネットワーク上の他のPCを攻撃するために使われる可能性もあります。

通常、ルーターは、「ポート転送/ポートトリガー」ページで設定したローカルPCまたはサービスへの応答ではないインターネットからの着信トラフィックを検出して破棄します。トラフィックを破棄する代わりに、トラフィックをネットワーク上のPCに転送するように指定できます。そのようなPCは、デフォルトDMZサーバーと呼ばれます。

デフォルトDMZサーバーを設定します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「高度」>「設定」>「WAN設定」を選択します。  
「WAN設定」ページが表示されます。
5. 「デフォルトDMZサーバー」チェックボックスを選択します。
6. IPアドレスを入力します。
7. 「適用」ボタンをクリックします。  
設定が保存されます。

## ルーターのデバイス名を変更します

ルーターのデバイス名は、そのモデル番号です。このデバイス名は、ネットワークを参照するとファイルマネージャーに表示されます。

ルーター名を変更します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「高度」>「設定」>「デバイス名」の順に選択します。  
「デバイス名」ページが表示されます。

5. [デバイス名] に、新しい名前を入力します。
6. [適用] ボタンをクリックします。  
設定が保存されます。

## LAN TCP/IP設定の変更

ルーターは、LAN側でプライベートIPアドレスを使用し、DHCPサーバーとして動作するようにあらかじめ設定されています。ルーターのデフォルトLAN IP設定は次のとおりです。

- ・ LAN IPアドレス 192.168.1.1
- ・ サブネットマスク 255.255.255.0

これらのアドレスは、プライベートネットワーク内で使用する指定プライベートアドレスの範囲内であり、ほとんどのアプリケーションに適しています。ネットワークで別のIPアドレス指定スキームが必要な場合は、設定を変更できます。

ネットワーク上の1台以上のデバイスで使用する特定のIPサブネットが必要な場合、または同じIPスキームを使用する競合サブネットを使用する場合、これらの設定を変更できます。

### LAN TCP/IP設定を変更します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの[基本]の[ホーム]ページが表示されます。
4. [高度]>[設定]>[LAN設定]を選択します。  
[LAN設定] ページが表示されます。
5. [IPアドレス] の欄に、IPアドレスを入力します。
6. [サブネットマスク] の欄に、ルーターのサブネットマスクを入力します。



IP アドレスと組み合わせて、サブネットマスクはどのアドレスがローカルであり、どのアドレスがゲートウェイやルーターを通さなければならないかをデバイスに知らせることができます。

7. RIP設定を変更します。

RIPは、ルーター同士のルーティング情報のやり取りを可能にします。

a. **RIP方向**を選択します。

- ・ **両方**：ルーターは、ルーティングテーブルを定期的にブロードキャストし、受信する情報を追加します。
- ・ **送信のみ**：ルーターは、ルーティングテーブルを定期的にブロードキャストします。
- ・ **受信のみ**：ルーターは、受信するRIP情報を追加します。

b. **RIPバージョン**を選択します。

- ・ **無効**：これはデフォルトの設定です。
- ・ **RIPバージョン1**：この形式は、ユニバーサルにサポートされています。正常なネットワーク設定を使用している場合、ほとんどのネットワークで利用できます。
- ・ **RIP-2B**：この形式では、より多くの情報を伝送します。RIP-2Bは、ルーティングデータをRIP-2形式で送信し、サブネットブロードキャストを使用します。
- ・ **RIP-2M**：この形式では、より多くの情報を伝送します。RIP-2MはルーティングデータをRIP-2形式で送信し、マルチキャストを使用します。

8. **[適用]** ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

ルーターのLAN IPアドレスを変更した場合は、この変更が有効になると接続が切断されます。

9. 再接続するには、ブラウザーを閉じてから再起動し、ルーターにログインします。

## ルーターをDHCPサーバーとして使用する

デフォルトで、ルーターはDHCPサーバーとして動作します。ルーターは、LANに接続しているすべてのPCに対して、IPアドレス、DNSサーバーアドレス、デフォルトゲートウェイ

イのアドレスを割り当てます。割り当てられるデフォルトゲートウェイアドレスは、ルーターのLANアドレスです。

これらのアドレスは、ルーターのLAN IPアドレスと同じIPアドレスサブネットに属している必要があります。デフォルトのアドレス割り当て方式を使用した場合は192.168.1.2から192.168.1.254の範囲を指定しますが、固定アドレスを使用するデバイス用に範囲の一部を確保しておくことができます。

**ルーターをDHCPサーバとして使用し、ルーターが割り当てるIPアドレスのプールを指定するには、次の手順を実行します。**

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. **[高度] > [設定] > [LAN設定]** を選択します。  
[LAN設定] ページが表示されます。
5. 以前にDHCPサーバの機能を無効にした場合は、**[ルーターをDHCPサーバとして使用する]** チェックボックスを選択します。
6. ルーターが割り当てるIPアドレスの範囲を指定します。
  - a. **[開始IPアドレス]** に、ルーターと同じサブネット内でIPアドレスプールの開始アドレスを入力します。  
このIPアドレスは、ルーターと同じサブネット内にある必要があります。デフォルトの開始IPアドレスは192.168.1.2です。
  - b. **[終止IPアドレス]** に、ルーターと同じサブネット内でIPアドレスプールの終止アドレスを入力します。  
このIPアドレスは、ルーターと同じサブネット内にある必要があります。デフォルトの終止IPアドレスは192.168.1.254です。
7. **[適用]** ボタンをクリックします。  
設定が保存されます。

ルーターは、DHCPを要求するすべての機器に対して、次のパラメーターを配信します。

- ・ 指定した範囲内のIPアドレス
- ・ サブネットマスク
- ・ ゲートウェイのIPアドレス（ルーターのLAN IPアドレス）
- ・ DNSサーバーのIPアドレス（ルーターのLAN IPアドレス）

## ルーターのDHCPサーバ機能を有効にします

デフォルトで、ルーターはDHCPサーバーとして動作します。ルーターは、LANに接続しているすべてのPCに対して、IPアドレス、DNSサーバーアドレス、デフォルトゲートウェイのアドレスを割り当てます。割り当てられるデフォルトゲートウェイアドレスは、ルーターのLANアドレスです。

ネットワーク上の別のデバイスをDHCPサーバーとして使用したり、すべてのコンピューターのネットワーク設定を指定したりすることもできます。

**ルーターのDHCPサーバー機能を無効にします。**

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「高度」>「設定」>「LAN設定」を選択します。  
「LAN設定」ページが表示されます。
5. 「ルーターをDHCPサーバーとして使用する」チェックボックスのチェックを外します。
6. 「適用」ボタンをクリックします。
7. （オプション）このサービスが無効のときに、ネットワーク上に他のDHCPサーバーがない場合は、PCのIPアドレスを手動で設定してPCがルーターにアクセスできるようにします。

# 予約LAN IPアドレスの管理

LAN上でPCに予約IPアドレスを指定した場合、そのPCはルーターのDHCPサーバーにアクセスするたびに同じIPアドレスを受信します。予約IPアドレスはIPアドレスの固定設定が必要なPCまたはサーバーに割り当てます。

## IPアドレスの予約

IPアドレスを予約します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「**[高度] > [設定] > [LAN設定]**」を選択します。  
「**[LAN設定]**」ページが表示されます。
5. 「**[予約アドレステーブル]**」セクションで、「**[追加]**」ボタンをクリックします。
6. 「**[IPアドレス]**」の欄に、PCまたはサーバーに割り当てるIPアドレスを入力します。  
ページの表示が変更されます。
7. IPアドレスはルーターのLANサブネット（192.168.1.xなど）から選択してください。
8. PCまたはサーバーのMACアドレスを入力します。

**ヒント:** すでにPCがネットワーク上にある場合は、そのMACアドレスを「**[接続デバイス]**」ページからコピーしてここに貼り付けることができます。

9. 「**[適用]**」ボタンをクリックします。  
予約アドレスが表に入力されます。

予約アドレスは、このPCがルーターのDHCPサーバーに次回アクセスするまで割り当てられません。PCを再起動するか、またはPCのIP設定にアクセスして強制的にDHCPをリリースして更新します。

## 予約IPアドレスの編集

予約アドレスエントリを編集します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「高度」>「設定」>「LAN設定」を選択します。  
「LAN設定」ページが表示されます。
5. 予約アドレスの隣にあるラジオボタンを選択します。
6. 「編集」ボタンをクリックします。  
「予約アドレステーブル」ページが表示されます。
7. 設定を変更します。
8. 「適用」ボタンをクリックします。  
設定が保存されます。

## 予約IPアドレスエントリの削除

予約アドレスエントリを削除します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。

4. **[高度] > [設定] > [LAN設定]** を選択します。  
[LAN設定] ページが表示されます。
5. 予約アドレスの隣にあるラジオボタンを選択します。
6. **[削除]** ボタンをクリックします。  
アドレスが削除されます。

## カスタムの静的ルートの管理

通常、ネットワーク上で複数のルーターまたは複数のIPサブネットを使用しない限り、スタティックルートを追加する必要はありません。

静的ルートが必要とされる例として、次の場合が考えられます。

- ・ 主要なインターネットアクセスが、プロバイダーへのケーブルモデム経由である。
- ・ ホームネットワークに、勤務先企業に接続するためのISDNルーターが組み込まれている。このルーターのLAN上のアドレスは192.168.1.100である。
- ・ 勤務先企業のネットワークアドレスは134.177.0.0である。

ルーターをセットアップしたときに、絶対的な静的ルートが2つ作成されました。デフォルトのルートは、プロバイダーによりゲートウェイとして作成され、2つ目の静的ルートは、すべての192.168.1.xアドレスのローカルネットワークに対して作成されました。この設定では、134.177.0.0ネットワーク上の機器にアクセスしようとする、ルーターはリクエストをプロバイダーに転送します。プロバイダーはリクエストを勤務先企業に転送し、このリクエストは企業のファイアウォールでおそらく拒否されます。

この場合、静的ルートを定義し、192.168.1.100にあるISDNルーター経由で134.177.0.0にアクセスする必要があることをルーターに伝える必要があります。以下に例を示します。

- ・ **[ターゲットIPアドレス]** と **[サブネットマスク]** で、この静的ルートをすべての134.177.x.xアドレスに適用することを指定します。
- ・ **[ゲートウェイIPアドレス]** フィールドでは、これらのアドレスのすべてのトラフィックが192.168.1.100のISDNルーターに転送されるように指定します。
- ・ **[プライベート]** チェックボックスは、RIPが有効になっている場合のセキュリティ対策としてのみ選択します。

## 静的ルートの設定

静的ルートを設定します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「**[高度]>[高度な設定]>[静的ルート]**」を選択します。  
「静的ルート」ページが表示されます。
5. 「**[追加]**」ボタンをクリックします。  
ページの表示が変更されます。
6. 「**[ルート名]**」欄に、この静的ルートの名前を入力します（識別目的のみ）。
7. LANのみにアクセスを制限するには、「**[プライベート]**」チェックボックスを選択します。  
「**[プライベート]**」が選択されている場合、この静的ルートはRIPで報告されません。
8. 「**[アクティブ]**」チェックボックスを選択し、このルートを有効にします。
9. 目的地の「**[ターゲットIPアドレス]**」を入力します。
10. この目的地のIPサブネットマスクを入力します。  
目的地がシングルホストの場合、**255.255.255.255** と入力します。
11. ゲートウェイIPアドレスを入力します。  
このアドレスは、ルーターと同じLANセグメント上にある必要があります。
12. メトリック値として2～15の数値を入力します。  
この値は、現在のネットワークと目的地の間にあるルーターの数を表します。通常、2 または 3 の設定で動作します。
13. 「**[適用]**」ボタンをクリックします。  
静的ルートが追加されます。

## 静的ルートの編集

### 静的ルートを編集します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「高度」>「高度な設定」>「静的ルート」を選択します。  
「静的ルート」ページが表示されます。
5. 表から、目的のルートのラジオボタンを選択します。
6. 「編集」ボタンをクリックします。  
「静的ルート」ページの内容が変わります。
7. ルート情報を編集します。
8. 「適用」ボタンをクリックします。  
設定が保存されます。

## 静的ルートの削除

### 静的ルートを削除します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。



4. **[高度] > [高度な設定] > [静的ルート]** を選択します。  
[静的ルート] ページが表示されます。
5. 表から、目的のルートのラジオボタンを選択します。
6. **[削除]** ボタンをクリックします。  
表からルートが削除されます。

## 基本ワイヤレス設定

ルーターとサテライトには、同じ WiFi ネットワーク名 (SSID) と WiFi パスワードが設定されています。SSID とパスワードは、ルーターとサテライト本体のラベルに記載されています。ルーターのWeb管理者ページで設定を変更すると、ルーターは自動的に新しい設定をサテライトに送信します。

無線LAN設定を変更する場合は、新しい設定をメモしておき、簡単に探せる安全な場所に保管してください。

PCまたはモバイルデバイスで無線LAN接続を使用している場合、ネットワーク名 (SSID) やその他の無線LANセキュリティ設定を変更すると、**[適用]** ボタンをクリックしたときに接続が切断されます。この問題を回避するため、有線接続でルーターにアクセスしてください。

### 基本無線LAN設定を指定します。

1. Orbi ネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. Orbi 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの **[基本]** の **[ホーム]** ページが表示されます。
4. **[ワイヤレス]** を選択します。  
[ワイヤレス設定] ページが表示されます。
5. ネットワーク名 (SSID) はデフォルトのままにしておくことを推奨します。変更するには、新しい名前を **[ネットワーク名 (SSID)]** の欄に入力します。

名前は32文字までで、大文字と小文字を区別します。デフォルトのSSIDはランダムに生成され、ルーターのラベルに記載されています。名前を変更する場合は、新しい名前を書き留めて、安全な場所に保管してください。

6. 無線LANチャンネルを変更するには、番号を[チャンネル] ドロップダウンリストで選択します。

一部の地域では、利用できないチャンネルがあります。干渉（接続が失われたり、データ転送速度が低下したりする）が発生しない限り、チャンネルを変更しないでください。干渉が発生する場合は、別のチャンネルを試してみてください。

複数のアクセスポイントを使用する場合は、干渉を抑えるために近隣のアクセスポイントで異なるチャンネルを使用することを推奨します。近隣のアクセスポイント間で推奨されるチャンネル間隔は、4チャンネルです（例えば、チャンネル1と5や、6と10を使用します）。

7. [適用] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。ルーターは新しい設定をサテライトに送信します。

無線LAN接続の使用中にSSIDを変更すると、ネットワークから切断されます。

8. 新しい設定の無線LANネットワークに接続できることを確認します。

無線LANを使用して接続できない場合は、次の点を確認してください。

- ・ 無線LAN対応PCまたはモバイルデバイスがエリア内の別の無線LANネットワークに接続していませんか？一部の無線LAN子機は、最初に検出されたネットワークに自動的に接続します。
- ・ ご利用の無線LAN子機が（設定を変更する前の）古い設定でネットワークに接続していませんか？その場合は、無線LAN子機の接続情報を更新し、ネットワークの現在の設定と一致させます。

## WiFiパスワードまたはセキュリティ方式を変更

ルーターとサテライトには、同じ WiFi ネットワーク名（SSID）と WiFi パスワードが設定されています。SSID とパスワードは、ルーターとサテライト本体のラベルに記載されています。ルーターのWeb管理者ページで設定を変更すると、ルーターは自動的に新しい設定をサテライトに送信します。セキュリティを無効にしないことをお勧めします。

**WPA設定を変更します。**

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. Orbi管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「**ワイヤレス**」を選択します。  
「ワイヤレス設定」ページが表示されます。
5. 「**セキュリティオプション**」で、WPAオプションを選択します。
  - ・ **WPA2-PSK [AES]**
  - ・ **WPA-PSK [TKIP] + WPA2-PSK [AES]**
  - ・ **WPA3パーソナル [SEE]**

WPA3オプションは、最も強力なセキュリティのために最新の標準を使用します。  
一部の古いPCおよびWiFiデバイスでは、WPA2またはWPA3を使用できません。ネットワークに古いPCや無線LANデバイスが含まれる場合は、**WPA-PSK [TKIP] + WPA2-PSK [AES]** ラジオボタンを選択してください。

「**パスワード (ネットワークキー)**」欄が表示されます。
6. 「**パスワード (ネットワークキー)**」の欄に、使用するネットワークキー（パスワード）を入力します。  
WPAおよびWPA2の場合、8～63文字のテキスト文字列です。WPA3の場合、8～127文字のテキスト文字列です。
7. 新しいパスワードをメモしておき、将来参照できるように安全な場所に保管します。
8. 「**適用**」ボタンをクリックします。  
設定が保存されます。

# ゲストWiFiネットワークの設定

ゲストWiFiネットワークを設定します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. Orbi管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. **[ゲストネットワーク]**を選択します。  
「[ゲストネットワーク設定]」ページが表示されます。
5. **[ゲストネットワークを有効にする]** チェックボックスを選択します。
6. **[SSIDブロードキャストを有効にする]** チェックボックスは選択したままにします。  
ルーターがネットワーク名（SSID）をブロードキャストできるようにすると、ネットワークを見つけて接続するのが容易になります。このチェックボックスのチェックを外した場合は、ネットワーク名（SSID）が非表示になります。
7. ネットワーク名を変更するには、新しい名前を **[ネットワーク名 (SSID)]** の欄に入力します。  
名前は32文字までで、大文字と小文字を区別します。名前を変更する場合は、新しい名前を書き留めて、安全な場所に保管してください。
8. **[ゲストが相互に表示され、ローカルネットワークにアクセスすることを許可]** チェックボックスを選択または選択解除します。  
プライバシー保護のために、このチェックボックスはデフォルトでチェックが外されています。つまり、ゲストはインターネット接続を使用できますが、Orbiネットワークに接続されたPCやデバイスにはアクセスできません。
9. セキュリティオプションを選択します。  
WPA2は最も強力なセキュリティの規格で、これがデフォルトの設定になっています。
10. **[適用]** ボタンをクリックします。  
設定が保存されます。ルーターは新しい設定をサテライトに送信します。

# 高度なワイヤレス設定を表示または変更

高度なワイヤレス設定を表示または変更します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. **[高度] > [高度な設定] > [ワイヤレス設定]** を選択します。  
高度なワイヤレス設定のページが表示されます。

**注意:** バックホールパスワードは、ルーターとサテライト間のWiFi通信で使用するパスワードです。新しいバックホールパスワードの作成については、新しいバックホールパスワードを生成（80ページ）を参照してください。

5. **[地域]** リストで地域を選択します。  
この項目は変更できません。
6. SSIDブロードキャストを管理するには、**[SSIDブロードキャストを有効にする]** チェックボックスを選択、または選択を解除します。  
このチェックボックスが選択されている場合、ルーターはネットワーク名をブロードキャストします。PCや無線LAN子機で無線LANのネットワークをスキャンしたときにネットワーク名（SSID）が表示されるようになります。
7. **[適用]** ボタンをクリックします。  
設定が保存されます。

# ルーターをWiFiアクセスポイントとして使用する

ルーターを、アクセスポイント（AP）として動作するように設定できます。

たとえばルーターを、インターネットサービスに既に使用済みのルーターに接続するWiFiアクセスポイントとして使用できます。この場合、既存のルーターの設定を変更する必要はありません。

**インターネット接続のセットアップ後にルーターをAPとして設定します。**

1. LANケーブルを使用して、このルーターのインターネットポートを既存のルーターのLANポートに接続します。
2. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
3. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
4. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
5. 「**[高度]>[高度な設定]>[ルーター/APモード]**」を選択します。  
「ルーター/APモード」ページが表示されます。
6. 「**[APモード]**」ラジオボタンを選択します。  
ページの表示が変更されます。
7. IPアドレスの設定を選択します。
  - ・ **既存のルーターから自動的に取得**: このルーターがAPモードのときに、ネットワーク上の別のルーターがこのルーターにIPアドレスを割り当てます。
  - ・ **固定IPアドレスを使用 (推奨しません)**: このルーターがAPモードのときに特定のIPアドレスを手動で割り当てる場合は、この設定を使用します。このオプションを使用するには、ネットワークに関する詳しい知識が必要です。

**注意:** ネットワーク上の他のルーターやゲートウェイとの干渉を避けるため、ルーターごとに異なる無線LAN設定を使用することをお勧めします。また、他のルーターのWiFi無線をオフにして、OrbiをWiFiクライアントアクセスにのみ使用することもできます。

8. **[適用]** ボタンをクリックします。  
ルーターのIPアドレスが変更され、切断されます。
9. 再接続するには、ブラウザを閉じてから再起動し、「**orbilogin.com**」と入力します。

## ルーターモードを設定します

アクセスポイントとして設定したルーターを、ルーターに戻すことができます。  
**ルーターをルーターとしてセットアップします。**

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの**[基本]** の**[ホーム]** ページが表示されます。
4. **[高度] > [高度な設定] > [ルーター/APモード]** を選択します。  
**[ルーター/APモード]** ページが表示されます。
5. **[ルーターモード]** ラジオボタンを選択します。  
ページの表示が変更されます。
6. **[適用]** ボタンをクリックします。  
設定が保存されます。

# 新しいバックホールパスワードを生成

バックホールパスワードは、ルーターとサテライト間のWiFi通信で使用するパスワードです。新しいバックホールパスワードを生成できます。新しいバックホールパスワードを生成したら、**Sync**ボタンを使用して新しいバックホール接続を構築し、ルーターとサテライトがWiFiを使用して相互に通信できるようにする必要があります。

新しいバックホールパスワードを生成します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「**高度**」>「**高度な設定**」>「**ワイヤレス設定**」を選択します。  
高度なワイヤレス設定のページが表示されます。
5. 「**バックホールパスワード**」セクションで「**生成**」ボタンをクリックします。  
ルーターは新しいバックホールパスワードを生成します。

## ポートグループまたはVLANタググループのブリッジの設定

IPTVなどの一部の機器は、ルーターのNAT（ネットワークアドレス変換）サービスまたはファイアウォールの外側では機能しません。ご利用のプロバイダー（ISP）の要求に基づいて、それらの機器から直接プロバイダーのネットワークに接続する場合は、機器とルーターのインターネットポートの間でブリッジを有効にするか、新しいVLANタググループをブリッジに追加することができます。

**注意:** プロバイダーからIPTVとインターネットサービスのブリッジの設定方法に関する指示がある場合は、その指示に従ってください。

**注意:** この機能は、ルーターがルーターモードの場合にのみサポートされています。



## ポートグループのブリッジの設定

ルーターのLANポートに接続済みのデバイスにIPTVデバイスが含まれている場合は、ルーターのインターネットインターフェイスのポートグループにブリッジを設定する必要があります。

ポートグループのブリッジを設定すると、IPTV機器とルーターのインターネットポートの間で送信されるパケットがルーターのNAT（ネットワークアドレス変換）サービスによって処理されないようにできます。

**ポートグループを設定してブリッジを有効にします。**

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. Orbi管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「**[高度] > [高度な設定] > [VLAN/ブリッジ設定]**」を選択します。  
「**[VLAN/ブリッジ設定]**」ページが表示されます。
5. 「**[VLAN/IPTVセットアップを有効にする]**」チェックボックスを選択します。  
ページが展開されます。
6. 「**[ブリッジグループごと]**」ラジオボタンを選択します。  
セクションが展開されます。
7. デバイスが接続されているルーターのLANポートに対応する「**[有線ポート]**」のチェックボックスを選択します。  
少なくとも1つの「**[有線ポート]**」チェックボックスを選択する必要があります。複数のチェックボックスを選択できます。
8. 「**[適用]**」ボタンをクリックします。  
設定が保存されます。

## VLANタググループのブリッジの設定

ルーターのLANポートに接続されているデバイスにIPTVデバイスが含まれている場合、ISPはルーターのインターネットインターフェイス用のVLANタググループのブリッジを設定する必要があります。

IPTVのサービスに加入している場合、ルーターはインターネットトラフィックとIPTVトラフィックの間でVLANタグを区別する必要があることがあります。VLANタググループのブリッジを設定すると、IPTV機器とルーターのインターネットポートの間で送信されるパケットがルーターのNAT（ネットワークアドレス変換）サービスによって処理されないようになります。

ブリッジにVLANタググループを追加し、VLANタググループごとにVLAN IDと優先度の値を割り当てることができます。

### VLANタググループを追加してブリッジを有効にします。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. Orbi管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. **[高度] > [高度な設定] > [VLAN/ブリッジ設定]** を選択します。  
[VLAN/ブリッジ設定] ページが表示されます。
5. **[VLAN/IPTVセットアップを有効にする]** チェックボックスを選択します。  
ページが展開されます。
6. **[VLANタググループごと]** ラジオボタンを選択します。  
セクションが展開されます。
7. **[追加]** ボタンをクリックします。  
[VLANルールの追加] ページが表示されます。
8. 次の表の説明に従って設定を指定します。

項目	説明
名前	VLANタググループの名前を入力します。 使用できるのは最大で10文字です。
VLAN ID	1～4094の値を1つ入力します。
優先度	0～7の値を1つ入力します。
<p>有線LANポートのチェックボックスを選択します。</p> <p>デバイスがルーターのLANポートに接続されている場合は、デバイスが接続されているルーターのLANポートに対応するポートのチェックボックスを選択します。</p> <p>少なくとも1つのLANポートを選択してください。複数のポートを選択できます。</p>	

9. **[追加]** ボタンをクリックします。  
VLANタググループが追加されます。
10. **[適用]** ボタンをクリックします。  
設定が保存されます。

## Universal Plug and Playによるネットワーク接続の改善

UPnP (Universal Plug and Play) は、PCや周辺機器、家電製品などの機器を接続するだけでネットワーク上での利用を可能にするための技術です。UPnP機器は、ネットワーク上のその他の登録済みUPnP機器から自動的にサービスを検出することができます。

マルチプレイヤーゲーム、P2P接続、インスタントメッセージングやリモートアシスタンスなどのリアルタイム通信などのアプリケーションを使用する場合は、UPnPを有効にします。

### UPnPを有効にします。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

管理者ページの [基本] の [ホーム] ページが表示されます。

4. **[高度] > [高度な設定] > [UPnP]** を選択します。

[UPnP] ページが表示されます。

5. **[UPnP起動]** チェックボックスを選択します。

デフォルトではこのチェックボックスは選択されています。UPnPの自動機器設定を有効、または無効に設定することができます。**[UPnP起動]** チェックボックスのチェックを外すと、ルーターは他の機器に対し、ルーターのポート転送（マッピング）などのリソース自動制御を許可しません。

6. 通知間隔（分）を入力します。

通知間隔では、ルーターがUPnP情報をブロードキャストする頻度を指定します。1～1440分の間で設定してください。デフォルトは30分に設定されています。間隔を短く設定すると、ネットワークトラフィックは増加しますが、機器の状態を最新に保つことができます。間隔を長く設定すると、機器の状態の更新間隔は長くなりますが、ネットワークトラフィックを大幅に削減することができます。

7. 通知の有効期限をホップ数で入力します。

通知の有効期限は各UPnPパケットが送信するホップ（ステップ）数で表します。ホップ数とは、パケットがルーター間を経由するステップ数です。ホップ数は1～255の間で設定します。デフォルトの通知有効期限は4ホップに設定されており、ほとんどのホームネットワークでは問題ありません。一部の機器が正しくアップデートされていない場合は、この値を上げてみてください。

8. **[適用]** ボタンをクリックします。

UPnPポートマップテーブルには、ルーターにアクセスしているUPnP機器のIPアドレスと機器が開いたポート（内部および外部）が表示されます。UPnPポートマップテーブルにはどのタイプのポートが開いており、ポートが各IPアドレスに対しアクティブであるのかも表示します。

9. UPnPポートマップテーブルの情報を更新するには、**[更新]** ボタンをクリックします。

# 6

## ネットワークの管理

---

この章では、ホームネットワークを管理し、保守するためのルーター設定について説明します。

この章には次の内容が含まれます。

- ・ ファームウェアをアップデートします
- ・ 管理者パスワードの変更
- ・ 管理者パスワードのリセットを有効にします
- ・ 管理者パスワードのリセット
- ・ ルーターのステータスと使用状況を表示
- ・ インターネットポート統計の表示
- ・ インターネット接続ステータスの確認
- ・ サテライトのステータスを表示します
- ・ ルーターアクティビティのログの表示と管理
- ・ ネットワークに接続済みのデバイス情報の表示と編集
- ・ ネットワークに接続済みのサテライト情報の表示と編集
- ・ インターネットトラフィックの監視
- ・ タイムゾーン、夏時間、NTPサーバーの設定
- ・ ルーター設定ファイルの管理
- ・ OrbiアプリでどこからでもOrbiネットワークにアクセス

# ファームウェアをアップデートします

ルーターのWeb管理者ページを使用して、新しいファームウェアが使用可能かどうかを確認し、ルーターとサテライトをアップデートします。ルーターとサテライトのファームウェアを手動でもアップデートできます。

## ファームウェアアップデートの確認

新しいファームウェアを確認し、ルーターとサテライトをアップデートします。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターの管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. **[高度]>[管理者]>[ファームウェアアップデート]>[オンラインアップデート]** の順に選択します。  
「ファームウェア更新」ページが表示されます。
5. **[確認]** ボタンをクリックします。  
ルーターは、ルーターとサテライトに新しいファームウェアが使用可能かどうかを確認します。
6. 利用できる新しいファームウェアがある場合、**[すべてアップデート]** ボタンをクリックします。  
ルーターは、ルーターおよびサテライトのファームウェアをダウンロードし、アップデートを開始します。

**注意:** ファームウェアの破損を回避するため、アップデートを中断しないでください。例えば、ブラウザを閉じたり、リンクをクリックしたり、新しいページを読み込んだりしないでください。ルーターやサテライトの電源を切らないでください。

アップロードが完了すると、ルーターとサテライトは自動的に再起動します。アップデートプロセスは通常、約1分かかります。新しいファームウェアのリリースノートを読み、アップデート後にルーターの再設定が必要かどうかを確認してください。

## ファームウェアの手動アップデート

サテライトがルーターに接続されている場合は、ルーターにログインしてサテライトのファームウェアを手動でアップロードできます。

**警告:** まずサテライトのファームウェアをアップデートしてから、ルーターをアップデートすることをお勧めします。ルーターとサテライトのファームウェアを同時に更新したり、Orbiデバイス（ルーターまたはサテライト）を一度に複数更新したりしないでください。複数のOrbiデバイスをアップデートする必要がある場合は、最初のOrbiデバイスのアップデートが完了するまで待ってから、次のOrbiデバイスをアップデートしてください。

**ルーターとサテライトのファームウェアを手動でアップデートします。**

1. [jp.netgear.com/support](http://jp.netgear.com/support)にアクセスしてルーターとサテライトのファームウェアをダウンロードします。
2. Orbiサテライトのファームウェアをアップデートします。  
詳細については、「[サテライトファームウェアを手動でアップデートします](#)（87ページ）」を参照してください。
3. ルーターのファームウェアをアップデートします。  
詳細については、「[ファームウェアの手動アップデート](#)（88ページ）」を参照してください。

ルーターのファームウェアをアップデートする前に、サテライトのファームウェアをアップデートすることをお勧めします。

**サテライトのファームウェアを手動でアップデートします。**

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターの管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

管理者ページの [基本] の [ホーム] ページが表示されます。

4. [高度] > [管理者] > [ファームウェア更新] > [手動アップデート] を選択します。  
[ファームウェア更新] ページが表示されます。
5. サテライトのモデル名の横にあるチェックボックスを選択します。  
複数のサテライトがある場合は、1台ずつアップデートしてください。次のサテライトを更新する前に、最初のサテライトの更新が完了するまで待つ必要があります。
6. [アップデート] ボタンをクリックします。  
Orbiサテライトの [ルーターのアップグレード] ウィンドウが開きます。
7. ブラウザーから管理者パスワードの入力を求められた場合は、ルーターに入力したパスワードを入力します。
8. [参照] ボタンをクリックします。
9. ダウンロードしたサテライトファームウェアファイルを見つけて選択します。  
ファームウェアファイル名の末尾は、「.img」または「.chk」です。
10. [アップロード] ボタンをクリックします。  
プロセスが完了するまで数分かかります。
11. Orbiサテライトのアップデートが終了したら、[ステータス] を選択して、[ステータス] ページのファームウェアバージョンを再確認します。  
Orbiサテライトでファームウェアが更新されました。

**警告:** ルーターのファームウェアをアップデートする前に、サテライトのファームウェアアップデートが完了していることを確認してください。

#### ルーターのファームウェアを手動でアップデートします。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。



管理者ページの [基本] の [ホーム] ページが表示されます。

4. [高度] > [管理者] > [ファームウェア更新] > [手動アップデート] を選択します。  
[ファームウェア更新] ページが表示されます。
5. [参照] ボタンをクリックします。
6. ダウンロードしたファームウェアのファイルを選択します。  
ファームウェアファイル名の末尾は「.img」です。
7. [アップロード] ボタンをクリックします。  
ファームウェアがアップデートされます。

## 管理者パスワードの変更

この機能では、ルーター管理者のユーザー名adminを使用して、Web管理者ページにログインするためのデフォルトのパスワードを変更できます。Orbi WiFiネットワークへのアクセスに使用するパスワードではありません。

**注意:** ユーザー名「admin」の管理者パスワードを安全なパスワードに変更してください。どの言語の辞書にある単語も使用せず、大文字と小文字、数字、記号を混在させることを推奨します。使用できるのは最大で30文字です。

### ユーザー名adminのパスワードを設定します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの [基本] の [ホーム] ページが表示されます。
4. [高度] > [管理者] > [新しいパスワード] を選択します。  
[新しいパスワード] ページが表示されます。
5. 現在のパスワードを入力し、新しいパスワードを2か所に入力します。

6. パスワードをリセットできるようにするには**[パスワードの復元を有効にする]**チェックボックスをオンにします。  
パスワードの復元を有効にすることを推奨します。
7. **[適用]** ボタンをクリックします。  
設定が保存されます。

## 管理者パスワードのリセットを有効にします

ルーターの管理者パスワードは、ルーターのWeb管理者ページにログインするために使用されます。パスワードを忘れた場合にパスワードをリセットできるように、パスワードの復元機能を有効にすることを推奨します。このリセットプロセスは、Internet Explorer、Firefox、および Chrome ブラウザをサポートしますが、Safari ブラウザはサポートされません。

### パスワードのリセットを有効にします。

1. ネットワークに接続されているPCや無線LAN子機でWebブラウザを開きます。
2. 「**http://www.routerlogin.net**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの**[基本]** の**[ホーム]** ページが表示されます。
4. **[高度] > [管理者] > [新しいパスワード]** を選択します。  
**[新しいパスワード]** ページが表示されます。
5. **パスワードリセットを有効にする** チェックボックスを選択します。
6. セキュリティに関する2つの質問を選択し、それらの回答を入力します。
7. **[適用]** ボタンをクリックします。  
設定が保存されます。

# 管理者パスワードのリセット

パスワードの復元を有効にした場合は、ルーターの管理者パスワードをリセットできます。

## 管理者パスワードをリセットします。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. **[キャンセル]** ボタンをクリックします。  
パスワードの復元が有効の場合、ルーターのシリアル番号を入力するように求められます。
4. ルーターのシリアル番号を入力します。  
ルーターのシリアル番号は、ルーター本体のラベルに記載されています。
5. **[続ける]** ボタンをクリックします。
6. セキュリティの質問に対する回答を入力します。  
パスワードリセット機能を設定するときに、これらの回答を定義しました。
7. **[続ける]** ボタンをクリックします。  
新しい管理者パスワードを設定し、新しいセキュリティ用の質問を設定するように求められます。
8. 新しい管理者パスワードを入力し、新しいセキュリティ用の質問と回答を設定して、**[次へ]** ボタンをクリックします。  
設定が保存されます。
9. **[もう一度ログイン]** ボタンをクリックします。  
ログインウィンドウが開きます。
10. 新しい管理者パスワードを使用して、ルーターにログインします。

# ルーターのステータスと使用状況を表示

ルーターステータスと使用状況の情報を表示します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「**高度**」タブをクリックします。  
高度のホームページにルーターのステータスが表示されます。

## インターネットポート統計の表示

インターネットポート統計を表示します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「**高度**」タブをクリックします。
5. 「インターネットポート」のカテゴリで、「**統計を表示**」ボタンをクリックします。

ウィンドウが開き、以下の情報が表示されます。

- ・ **システムの稼働時間**: ルーターが最後に再起動されてからの経過時間です。
- ・ **ポート**: WAN（インターネット）ポートとLAN（イーサネット）ポートの統計です。各ポートについて、画面に以下の情報が表示されます。
  - － **ステータス**: ポートのリンクステータスです。
  - － **送信パケット数**: リセットまたは手動でのクリア後に、このポートで送信されたパケットの数です。
  - － **受信パケット数**: リセットまたは手動でのクリア後に、このポートで受信されたパケットの数です。
  - － **コリジョン**: リセットまたは手動でのクリア後に、このポートで発生したコリジョンの数です。
  - － **送信速度**: インターネットポートやLANポートで使用された現在の送信速度です。
  - － **受信速度**: インターネットポートやLANポートで使用された現在の受信速度です。
  - － **稼働時間**: このポートが接続されてからの経過時間です。
  - － **サンプリング間隔**: このページで統計が更新される間隔です。

6. サンプリングの周期を変更するには、[サンプリング間隔] 欄に時間を秒単位で入力し、[間隔の設定] ボタンをクリックします。
7. 完全にサンプリングを停止するには、[停止] ボタンをクリックします。

## インターネット接続ステータスの確認

インターネット接続ステータスを確認します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。

管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。

4. **[高度]** タブをクリックします。
5. **[インターネットポート]** のカテゴリで、**[接続ステータス]** ボタンをクリックします。  
[接続ステータス] ウィンドウが開き、以下の情報が表示されます。
  - ・ **IPアドレス**: ルーターに割り当てられているIPアドレスです。
  - ・ **サブネットマスク**: ルーターに割り当てられているサブネットマスクです。
  - ・ **デフォルトゲートウェイ**: ルーターが通信するデフォルトゲートウェイのIPアドレスです。
  - ・ **DHCPサーバー**: ルーターに接続されているすべてのPCに対してTCP/IP設定を提供するDHCPサーバーのIPアドレスです。
  - ・ **DNSサーバー**: ネットワーク名からIPアドレスへの変換機能を提供するDNSサーバーのIPアドレスです。
  - ・ **リース取得**: リースが取得された日付と時刻です。
  - ・ **リース期限**: リースが期限切れになる日付と時刻です。
6. インターネット接続を解除（切断）するには、**[リリース]** ボタンをクリックします。
7. インターネット接続を更新するには、**[更新]** ボタンをクリックします。
8. このページを終了するには、**[ウィンドウを閉じる]** ボタンをクリックします。

## サテライトのステータスを表示します

サテライトのステータスを表示するには、サテライトがOrbiネットワークに接続されている必要があります。

**サテライトのステータスを表示します。**

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。

3. ルーターの管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. **[接続デバイス]** を選択します。  
「接続デバイス」ページが表示されます。
5. 「接続サテライト」セクションで、サテライトのIPアドレスを捜します。
6. WebブラウザのアドレスバーにサテライトのIPアドレスを入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
7. ルーターに入力したのと同じ管理ユーザー名とパスワードを入力します。  
サテライトのステータスが表示されます。

## ルーターアクティビティのログの表示と管理

ログは、アクセスしたサイトやアクセスしようとしたサイト、その他のルーターアクティビティの詳細な記録です。ログには最大256のエントリが保存されます。

**ログを表示および管理します。**

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. **[高度] > [管理者] > [ログ]** を選択します。  
「ログ」ページには以下の情報が表示されます。
  - ・ **日付と時刻**: ログエントリが記録された日付と時刻です。
  - ・ **ソースIP**: このログの発生元のデバイスのIPアドレスです。

- ・ **ターゲットアドレス**: アクセスしたWebサイトやニュースグループの名前またはIPアドレスです。
  - ・ **アクション**: インターネットアクセスがブロックされた、または許可されたなどの、発生したアクションです。
5. ログページを更新するには、**[更新]** ボタンをクリックします。
  6. ログを消去するには、**[ログを消去]** ボタンをクリックします。
  7. ログを直ちにメールで送信するには、**[ログ送信]** ボタンをクリックします。

## ネットワークに接続済みのデバイス情報の表示と編集

Orbiネットワークに接続されているデバイスを表示できます。また、ルーターのWebインターフェイスの**［接続デバイス］** ページに表示されている情報を編集することもできます。

### ネットワークに接続済みのデバイスを表示

現在Orbiネットワークに接続されているすべてのPCやデバイスを表示できます。

**ネットワークに接続されたデバイスを表示します。**

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターの管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの**［基本］** の**［ホーム］** ページが表示されます。
4. **［接続デバイス］** を選択します。



[接続デバイス] ページの [接続デバイス] セクションに、次の情報が表示されます。

- ・ **デバイス名**: このセクションには、デバイスモデル、名前、タイプ、およびIPアドレスが表示されます。
- ・ **IPアドレス**: このセクションには、デバイスのIPアドレスが表示されます。ルーターはネットワークに接続したときに各デバイスにIPアドレスを割り当てるので、デバイスのIPアドレスは変わることがあります。
- ・ **MACアドレス**: このセクションには、デバイスのMACアドレスが表示されます。各デバイスの一意のMACアドレスで、変更されることはありません。
- ・ **接続タイプ**: このセクションには、デバイスが有線イーサネットを介してOrbiネットワークに接続されるのか、無線LANを介して接続されるのかが表示されます。
- ・ **接続済みOrbi**: このセクションには、デバイスが接続されているOrbiルーターまたはサテライトが表示されます。また、OrbiルーターまたはサテライトのMACアドレスも表示されます。

5. ページを更新するには、[更新] ボタンをクリックします。

## デバイス情報を編集します

[接続デバイス] ページに表示された、接続されているデバイスのモデルと名前を変更できます。

ネットワークに接続されたデバイスを表示します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターの管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの [基本] の [ホーム] ページが表示されます。
4. [接続デバイス] を選択します。  
[接続デバイス] ページが表示されます。
5. ページに表示されている接続されたデバイスを選択します。

デバイスの編集ページが表示されます。

6. デバイスのモデルを変更するには、[デバイスモデル] に新しいモデルを入力します。
7. デバイス名を変更するには、[デバイス名] 欄に新しい名前を入力します。
8. デバイスのタイプを変更するには、[デバイスのタイプ] ドロップダウンリストからデバイスを選択します。
9. [適用] ボタンをクリックします。  
設定が保存されます。

## ネットワークに接続済みのサテライト情報の表示と編集

Orbiネットワークに接続されているサテライトを表示できます。また、ルーターのWebインターフェイスの[接続デバイス] ページに表示されている情報を編集することもできます。

### ネットワークに接続済みのサテライトを表示

Orbiネットワークに接続されているサテライトを表示できます。

ネットワークに接続されているサテライトを表示します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターの管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの[基本] の[ホーム] ページが表示されます。
4. [接続デバイス] を選択します。

[接続デバイス] ページの [接続サテライト] セクションに、次の情報が表示されます。

- ・ **デバイス名**: このセクションには、サテライトモデル、名前、およびIPアドレスが表示されます。
- ・ **IPアドレス**: このセクションには、サテライトのIPアドレスが表示されます。ルーターはネットワークに接続したときに各サテライトにIPアドレスを割り当てるので、サテライトのIPアドレスは変わることがあります。
- ・ **MACアドレス**: このセクションには、サテライトのMACアドレスが表示されます。各サテライトの一意のMACアドレスで、変更されることはありません。
- ・ **接続タイプ**: このセクションには、サテライトがLANケーブルでOrbiネットワークに接続されるのか、WiFiで接続されるのかが表示されます。
- ・ **接続済みOrbi**: このセクションには、サテライトが接続されているOrbiルーターまたはサテライトが表示されます。また、OrbiルーターまたはサテライトのMACアドレスも表示されます。
- ・ **バックホールステータス**: このセクションには、サテライトとルーターまたは別のサテライトとの間のバックホール接続のステータスが表示されます。

5. ページを更新するには、[更新] ボタンをクリックします。

## [接続デバイス]ページに表示されるサテライト情報を編集します

[接続デバイス] ページに表示されるサテライトのモデルおよび名前を変更できます。

**サテライトのモデルまたは名前を変更します。**

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターの管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの [基本] の [ホーム] ページが表示されます。

4. [接続デバイス] を選択します。

[接続デバイス] ページが表示されます。

5. ページに表示されている接続されたデバイスを選択します。  
デバイスの編集ページが表示されます。
6. デバイスのモデルを変更するには、[デバイスモデル] に新しいモデルを入力します。
7. デバイス名を変更するには、[デバイス名] 欄に新しい名前を入力します。
8. [適用] ボタンをクリックします。  
設定が保存されます。

## インターネットトラフィックの監視

トラフィックメーターを使用すると、ルーターのインターネットポートを通過するインターネットトラフィックの量を監視したり、トラフィック量の制限を設定したりできます。

インターネットトラフィックを監視します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの [基本] の [ホーム] ページが表示されます。
4. [高度] > [高度な設定] > [トラフィックメーター] を選択します。  
[トラフィックメーター] ページが表示されます。
5. [トラフィックメーターを有効にする] チェックボックスを選択します。

6. インターネットトラフィックの容量を制御するには、トラフィック容量の制御または接続時間制御のいずれかの機能を使用できます。
  - ・ **[トラフィック容量の制御]** ラジオボタンを選択し、次のいずれかのオプションを選択します。
    - － **制限なし**: トラフィック容量の限度に達しても制限を適用しません。
    - － **ダウンロードのみ**: 制限は受信トラフィックにのみ適用されます。
    - － **双方向**: 制限は受信と送信双方のトラフィックに適用されます。
  - ・ **[接続時間制御]** ラジオボタンを選択し、許可する時間数を **[月次制限]** 欄に入力します。
7. 新しい接続を作成するとプロバイダーが追加のデータ容量に対して課金する場合は、**[各接続のデータ容量をラウンドアップ]** 欄に、その追加データ容量をMB単位で入力します。
8. **[トラフィックカウンター]** セクションで、特定の日時に始まるようにトラフィックカウンターを設定します。  
トラフィックカウンターを直ちに始めるには、**[カウンターをリセットする]** ボタンをクリックします。
9. 毎月の制限容量または時間に達する前に警告メッセージを発行する場合は、**[トラフィック制御]** セクションに数値を入力します。  
デフォルトの値は0で、警告メッセージは発行されません。
10. 上限に達したときにインターネット接続を停止するには、**[インターネット接続を切断し、無効にする]** チェックボックスを選択します。
11. **[適用]** ボタンをクリックします。  
**[インターネットトラフィック統計]** セクションは、データトラフィックの監視に役立ちます。
12. **[インターネットトラフィック統計]** セクションを更新するには、**[更新]** ボタンをクリックします。
13. ルーターのデータトラフィックに関する詳細情報を表示し、ポーリング間隔を変更するには、**[インターネットトラフィックのステータス]** ボタンをクリックします。

# タイムゾーン、夏時間、NTPサーバーの設定

ルーターを設定するときは、タイムゾーンを指定します。別のタイムゾーンを指定して、夏時間に調整できます。デフォルトでは、ルーターはNETGEARネットワークタイムプロトコル（NTP）サーバーから時刻を取得します。ただし、別のNTPサーバを指定することもできます。

**タイムゾーンを設定するには、夏時間に調整するか、NTPサーバを変更します。**

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザーを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「**高度**」>「**管理者**」>「**NTP設定**」を選択します。  
「NTP設定」ページが表示されます。  
このページには、現在の日付、時刻が表示されます。
5. タイムゾーンを変更するには、メニューから別のタイムゾーンを選択します。
6. 夏時間を適用する地域に住んでいる場合は、「**夏時間に自動調整する**」チェックボックスを選択します。
7. NTPサーバを変更するには、「**NTPサーバーの指定**」オプションボタンを選択し、NTPサーバの名前またはURLを**NTPサーバー**フィールドに指定します。
8. 「**適用**」ボタンをクリックします。  
設定が保存されます。

## ルーター設定ファイルの管理

ルーターの設定は、ルーター内の設定ファイルに保存されます。このファイルは、PCにバックアップ（保存）したり、復元したり、工場出荷時の初期設定に戻したりすることができます。

## 設定のバックアップ

ルーターの設定をバックアップします。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「高度」>「管理者」>「設定のバックアップ」を選択します。  
「設定のバックアップ」ページが表示されます。
5. 「バックアップ」ボタンをクリックします。
6. ネットワーク上の場所を指定し、現在の設定のコピーを保存します。

## 現在の設定を消去します

現在の設定を消去し、工場出荷時の初期設定に復元することができます。この操作は、ルーターを別のネットワークに移動した場合に実行することもできます。

設定を消去します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「高度」>「管理者」>「設定のバックアップ」を選択します。

[設定のバックアップ] ページが表示されます。

5. [消去] ボタンをクリックします。

工場出荷時の初期設定に復元されます。ユーザー名は「admin」、パスワードは「password」、LAN IPアドレスは「192.168.1.1」になります。DHCPが有効になります。

## 設定の復元

バックアップした設定を復元します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの [基本] の [ホーム] ページが表示されます。
4. [高度] > [管理者] > [設定のバックアップ] を選択します。  
[設定のバックアップ] ページが表示されます。
5. [参照] ボタンをクリックし、**.cfg** ファイルを見つけて選択します。
6. [復元] ボタンをクリックします。  
ファイルがルーターにアップロードされ、ルーターが再起動します。

**警告:** 再起動プロセスを中断しないでください。

## OrbiアプリでどこからでもOrbiネットワークにアクセス

Orbiアプリのどこでもアクセス機能を使用すると、外出先でOrbiネットワークに接続して設定を変更できます。Orbiアプリでどこでも機能を使用するには、ルーターのファームウェアを更新し、モバイルデバイス用の最新のOrbiアプリをダウンロードする必要があります。



お使いのモバイルデバイス用の最新のOrbiアプリをダウンロードするには、  
<https://www.netgear.com/home/apps-services/orbi-app>にアクセスします。

# 7

## ポートのインターネットトラフィック クールのカスタマイズ

---

ポート転送とポートトリガーを使用して、インターネットトラフィックのルールを設定できます。これらの機能を設定するには、ネットワークの知識が必要です。

この章には次の内容が含まれます。

- ・ ローカルサーバへのポート転送を管理
- ・ ポートトリガーを管理

# ローカルサーバへのポート転送を管理

ホームネットワークにサーバが含まれている場合、特定のタイプの受信トラフィックがサーバに到達することを許可できます。例えば、ローカルのWebサーバ、FTPサーバ、ゲームサーバをインターネットから表示でき、使用できるようにすることもできます。

ルーターは、特定のプロトコルを使用する受信トラフィックを、ローカルネットワーク上のPCに転送できます。アプリケーション用のサーバの指定が可能で、ルーターがその他の受信プロトコルすべてを転送する宛先となるデフォルトDMZサーバを指定することもできます。

## ローカルサーバへのポート転送を設定

特定の受信プロトコルを転送します。

1. どのタイプのサービス、アプリケーション、またはゲームを提供するかを決めます。
2. サービスを提供する、ネットワーク上のPCのローカルIPアドレスを調べます。  
サーバコンピュータは常に同じIPアドレスを使用する必要があります。この設定を指定するには、予約IPアドレス機能を使用します。「[予約LAN IPアドレスの管理](#)（68ページ）」を参照してください。
3. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
4. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
5. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
6. **[高度] > [高度な設定] > [ポート転送/ポートトリガー]** を選択します。  
[ポート転送/ポートトリガー] ページが表示されます。
7. サービスタイプとして **[ポート転送]** ラジオボタンを選択した状態にします。
8. **[サービス名]** ドロップダウンリストで、サービス名を選択します。  
追加するサービスがドロップダウンリストに含まれていない場合は、カスタムサービスを作成します。「[カスタムポート転送サービスを追加](#)（108ページ）」を参照してください。

9. [サーバーIPアドレス] の欄に、サービスを提供するPCのIPアドレスを入力します。
10. [追加] ボタンをクリックします。  
リストにサービスが表示されます。

## カスタムポート転送サービスを追加

ポート転送を追加します。

1. アプリケーションが使用するポート番号または番号の範囲を確認します。  
この情報は通常、アプリケーションの提供者、ユーザーグループ、またはニュースグループに問い合わせることで確認できます。
2. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
3. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
4. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの [基本] の [ホーム] ページが表示されます。
5. [高度] > [高度な設定] > [ポート転送/ポートトリガー] を選択します。  
[ポート転送/ポートトリガー] ページが表示されます。
6. サービスタイプとして [ポート転送] ラジオボタンを選択した状態にします。
7. [カスタムサービスの追加] ボタンをクリックします。  
[ポート転送 - カスタムサービス] ページが表示されます。
8. [サービス名] 欄に、サービスの名前を入力します。
9. [プロトコル] ドロップダウンリストで、プロトコルを選択します。  
不明な場合は、[TCP/UDP] を選択してください。
10. [外部ポート範囲] 欄にポート番号を入力します。

11. 次のどちらかの方法で、内部ポートを指定します。
  - ・ **[内部ポートに同じポート範囲を使用]** チェックボックスを選択した状態にします。
  - ・ **[インターネットポート範囲]** 欄に内部ポート番号を入力します。
12. **[サーバーIPアドレス]** 欄にIPアドレスを入力するか、表に示されている接続デバイスのラジオボタンを選択します。
13. **[適用]** ボタンをクリックします。  
これでサービスが **[ポート転送/ポートトリガー]** ページのリストに表示されるようになります。

## ポート転送サービスを編集

ポート転送を編集します。

1. Orbi ネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの **[基本]** の **[ホーム]** ページが表示されます。
4. **[高度] > [高度な設定] > [ポート転送/ポートトリガー]** を選択します。  
**[ポート転送/ポートトリガー]** ページが表示されます。
5. サービスタイプとして **[ポート転送]** ラジオボタンを選択した状態にします。
6. 表から、サービス名の横にあるラジオボタンを選択します。
7. **[サービスの編集]** ボタンをクリックします。  
**[ポート転送 - カスタムサービス]** ページが表示されます。
8. 以下の設定を編集します。
  - ・ **サービス名**: サービス名を入力します。
  - ・ **プロトコル**: 不明な場合は、**[TCP/UDP]** を選択してください。

- ・ **外部ポート範囲**
- ・ 内部ポートについては、[内部ポートに同じポート範囲を使用] チェックボックスを選択したままにするか、[インターネットポート範囲] 欄にポートを入力します。
- ・ **サーバーIPアドレス**: [サーバーIPアドレス] 欄にIPアドレスを入力するか、表に示されている接続デバイスのラジオボタンを選択します。

9. [適用] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

## ポート転送エントリーを削除

ポート転送を削除します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの[基本]の[ホーム]ページが表示されます。
4. [高度]>[高度な設定]>[ポート転送/ポートトリガー]を選択します。  
[ポート転送/ポートトリガー]ページが表示されます。
5. サービスタイプとして [ポート転送] ラジオボタンを選択します。
6. 表から、サービス名の横にあるラジオボタンを選択します。
7. [サービスの削除] ボタンをクリックします。

## アプリケーションの例：ローカルWebサーバーを公開する

ローカルネットワークでWebサーバーをホストしている場合、ポート転送を使用して、インターネット上の任意のユーザーからのWebリクエストがWebサーバーに到達できるようにします。

## ローカルWebサーバーを公開します。

1. Webサーバーに、固定IPアドレスを割り当てるか、DHCPアドレス予約を使用して動的IPアドレスを割り当てます。  
この例では、ルーターは常に、Webサーバーに対してIPアドレス192. 168. 1. 33を指定します。
2. [ポート転送/ポートトリガー] ページで、192. 168. 1. 33にあるWebサーバーのローカルアドレスにHTTPサービスを転送するようにルーターを設定します。  
HTTP（ポート80）は、Webサーバーの標準プロトコルです。
3. （オプション）ダイナミックDNSサービスにホスト名を登録し、ルーターの [ダイナミックDNS] ページでその名前を指定します。  
ダイナミックDNSによって、インターネットブラウザーに名前を入力可能になるため、インターネットからサーバーへのアクセスが大幅に容易になります。この方法を使用しない場合は、プロバイダーが割り当てたIPアドレスを知っておく必要があり、一般に、このアドレスは変化します。

## ルーターがポート転送ルールを実装する方法

次の手順は、ポート転送ルールを設定する効果を説明しています。

1. ブラウザーにURLとして「www. example. com」と入力すると、ブラウザーは以下の宛先情報とともにWebページリクエストメッセージを送信します。
  - ・ **ターゲットアドレス**: www. example. comのIPアドレスで、これはルーターのアドレスです。
  - ・ **ターゲットポート番号**: 80です。これがWebサーバープロセスの標準ポート番号です。
2. ルーターはメッセージを受信し、受信ポート80のトラフィックに関するポート転送ルールを見つけます。
3. ルーターはメッセージ内の宛先をIPアドレス192. 168. 1. 123に変更し、メッセージをそのPCに送信します。
4. IPアドレス192. 168. 1. 123にあるウェブサーバーがリクエストを受信し、ルーターに応答メッセージを送信します。
5. ルーターが送信元IPアドレスに対するネットワークアドレス変換（NAT）を実行し、Webページリクエストを送信したPCまたは無線LAN子機に、インターネット経由で応答を送信します。

# ポートトリガーを管理

ポートトリガーは、以下の場合に役立つ動的なポート転送の拡張機能です。

- ・ アプリケーションがポート転送を複数のローカルPCに対して使用する必要がある（ただし同時には使用しない）。
- ・ アプリケーションが、送信ポートとは異なる受信ポートを開く必要がある。

ポートトリガーの使用時に、ルーターはユーザーが指定した送信「トリガー」ポートからインターネットに向かうトラフィックを監視します。そのポートからの送信トラフィックについて、ルーターはトラフィックを送信したPCのIPアドレスを保存します。ルーターは、受信ポートまたはユーザーがルールで指定したポートを一時的に開き、その受信トラフィックを宛先に転送します。

ポート転送では、ポート番号またはポートの範囲から、単一のローカルPCへの静的なマッピングが作成されます。ポートトリガーは、必要なときに任意のPCに対して動的にポートを開き、必要でなくなったときにポートを閉じることができます。

## ポートトリガーサービスを追加

ポートトリガーサービスを追加します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「**[高度]>[高度な設定]>[ポート転送/ポートトリガー]**」を選択します。  
「**[ポート転送/ポートトリガー]**」ページが表示されます。
5. 「**[ポートトリガー]**」ラジオボタンを選択します。  
ページの表示が変更されます。
6. 「**[サービスの追加]**」ボタンをクリックします。  
「**[ポートトリガー - サービス]**」ページが表示されます。



7. **[サービス名]** 欄に、サービスの名前を入力します。
8. **[サービスユーザー]** メニューで **[すべて]** を選択するか、**[単一アドレス]** を選択して1台のPCのIPアドレスを入力します。
  - ・ **すべて**: このオプション(デフォルト)では、インターネット上のすべてのPCがこのサービスを使用できるようになります。
  - ・ **単一アドレス**: このオプションを選択すると、サービスが特定のPCに制限されます。この欄にIPアドレスを入力すると、そのIPアドレスをメニューから選択できるようになります。
9. **[サービスタイプ]**メニューから、プロトコル (**TCP**または**UDP**) を選択します。
10. **[トリガーポート]** 欄に、受信ポートを開く必要のある送信トラフィックのポート番号を入力します。
11. **[接続タイプ]**メニューから、**TCP**、**UDP**、または**TCP/UDP**を選択します。  
不明な場合は、**[TCP/UDP]** を選択してください。
12. **[開始ポート]**フィールドと**[終了ポート]**フィールドに、インバウンド接続ポート番号を入力します。
13. **[適用]** ボタンをクリックします。  
これでサービスがポートマップ表に表示されるようになります。

## ポートトリガーを有効、タイムアウト期間を変更

デフォルトでは、ポートトリガーは有効で、デフォルトのタイムアウト期間が定義されています。ポートトリガーを無効にしたり、タイムアウト期間を変更したりできます。

**ポートトリガーを無効にする、またはタイムアウト期間を変更します。**

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの **[基本]** の **[ホーム]** ページが表示されます。

4. **[高度] > [高度な設定] > [ポート転送/ポートトリガー]** を選択します。  
[ポート転送/ポートトリガー] ページが表示されます。
5. **[ポートトリガー]** ラジオボタンを選択します。  
ページの表示が変更されます。
6. ポートトリガーを無効にするには、**[ポートトリガーを無効にする]**チェックボックスをオンにします。  
このチェックボックスが選択されていると、ポートトリガーの設定を指定した場合でも、ルーターはポートトリガーを使用しません。
7. タイムアウト時間を変更するには、**[ポートトリガータイムアウト]**フィールドに最大9999分の値を入力します。  
ルーターでアクティビティが検出されないときに受信ポートが開いたままになる時間をここで設定できます。ルーターはアプリケーションがいつ終了したかを検出できないため、この値を必ず指定する必要があります。

## 適用例：インターネットリレーチャットのためのポートトリガー

FTPサーバーやIRCサーバーなどの一部のアプリケーションサーバーは、複数のポート番号に応答を送信します。ポートトリガーを使用すると、特定の送信ポートのセッション開始後に、より多くの受信ポートを開くようにルーターに指示できます。

例となるのはインターネットリレーチャット（IRC）です。PCは宛先ポート6667でIRCサーバーに接続します。IRCサーバーはソースポートに応答するだけでなく、ポート113でコンピューターに“識別”メッセージも送信します。ポートトリガーを使用すると、「宛先ポート6667でセッションを開始するときに、ポート113の着信トラフィックが発信元PCに到達することも許可する必要があります。」とルーターに指示できます。次のシーケンスは、定義するポートトリガールールの効果を示しています。

1. PCで、IRCクライアントプログラムを開いてチャットセッションを開始します。
2. IRCクライアントは、宛先ポート番号として、IRCサーバープロセスの標準ポート番号である6667を使用して、IRCサーバーに対するリクエストメッセージを作成します。次に、PCがこのリクエストメッセージをルーターに送信します。
3. ルーターは、内部セッションテーブルに、PCとIRCサーバー間の通信セッションについて記述するエントリを作成します。ルーターは元の情報を保存し、ソースのアドレスとポートについてネットワークアドレス変換（NAT）を実行して、このリクエストメッセージをインターネット経由でIRCサーバーに送信します。

4. ルーターは、ユーザーのポートトリガールールを認識し、宛先ポート番号6667を観察して、ポート113の受信トラフィックをすべてPCに送信する別のセッションエントリを作成します。
5. IRCサーバーは、NATに割り当てられたソースポート（例：ポート33333）を宛先ポートとして使用して、ルーターに応答メッセージを送信します。IRCはルーターに、宛先ポート113を使用して“識別”メッセージも送信します。
6. ルーターは、宛先ポート33333へのメッセージを受信すると、セッションテーブルをチェックし、ポート番号33333のセッションがアクティブかどうかを確認します。アクティブなセッションを見つけたら、ルーターはNATによって置き換えられた元のアドレス情報を復元し、この応答メッセージをPCに送信します。
7. ルーターは、宛先ポート113への受信メッセージを受信すると、セッションテーブルをチェックし、ポート番号113でPCと関連付けられているアクティブセッションを検出します。ルーターはメッセージの宛先IPアドレスを、PCのIPアドレスで置き換えて、メッセージをPCに転送します。
8. ユーザーがチャットセッションを終了すると、ルーターは最終的に、通信中にアクティビティのない時間を検出します。ルーターは次に、セッションテーブルからそのセッションの情報を削除し、ポート番号33333や113では、受信トラフィックが受け入れられなくなります。

# 8

## VPNを使用したネットワークへのアクセス

---

OpenVPNソフトウェアを使用すると、VPN (Virtual Private Networking) を介してルーターにリモートアクセスすることができます。この章では、VPNアクセスを設定して使用する方法について説明します。

この章には次の内容が含まれます。

- ・ VPN接続の設定
- ・ VPNサービスの設定
- ・ OpenVPNソフトウェアのインストール
- ・ Windows PCでVPNトンネルを使用
- ・ VPNで自宅のネットワークにアクセス
- ・ ルーターでVPNクライアントのインターネットアクセスをブロック
- ・ VPNトンネル経由で自宅のインターネットサービスにアクセス

# VPN接続の設定

VPN (Virtual Private Network) を利用すると、家にいないときにインターネットを使用して自宅のネットワークに安全にアクセスできます。

このタイプのVPNアクセスは、クライアントとゲートウェイ間のトンネルと呼ばれます。PCがクライアントで、ルーターがゲートウェイです。VPN機能を使用するには、ルーターにログインしてVPNを有効にする必要があります。また、PCにVPNクライアントソフトウェアをインストールして実行する必要があります。

VPNはダイナミックDNS (DDNS) または静的IPアドレスを使用してルーターに接続します。

DDNSサービスを使用するには、ホスト名（ドメイン名と呼ばれる場合があります）を指定してアカウントを登録します。このホスト名を使用して、ネットワークにアクセスします。ルーターはNETGEAR、No-IP、Dynの各アカウントをサポートします。

ご利用のプロバイダー（ISP）から、お使いのインターネットアカウントに静的IPアドレス（50.196.x.xや10.x.x.xなど）が割り当てられている場合、VPNでは、そのIPアドレスを使用してホームネットワークに接続することができます。

## VPNサービスの設定

VPN接続を使用する前に、ルーターでVPNサービスを設定する必要があります。

### VPNサービスを設定します。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「**[高度] > [高度な設定] > [VPNサービス]**」を選択します。  
「VPNサービス」ページが表示されます。
5. 「**[VPNサービスを有効にする]**」チェックボックスを選択します。

デフォルトでは、VPNはポート番号12973のUDPをTUNモードに使用し、ポート番号12874をTAPモードに使用します。プロトコル、プロトコル番号、モードをカスタマイズす

る場合は、OpenVPNソフトウェアをインストールする前に変更することをお勧めします。

6. TUNモードのサービスタイプを変更する**UDP**または**TCP**を選択します。
7. TUNモードサービスポートを変更するには、フィールドに使用するポート番号を入力します。  
デフォルトのポート番号は12973です。
8. TAPモードサービスタイプを変更する**UDP**または**TCP**を選択します。
9. TAPモードのサービスポートを変更するには、フィールドに使用するポート番号を入力します。  
デフォルトのポート番号は12974です。
10. **[適用]** ボタンをクリックします。  
設定が保存されます。ルーターでVPNが有効になりますが、VPN接続を使用する前に、OpenVPNソフトウェアをPCにインストールして設定する必要があります。

## OpenVPNソフトウェアのインストール

このソフトウェアは、ルーターへのVPN接続を実行するデバイス（Windows/Mac PC、iOSデバイス、Androidデバイス）ごとにインストールする必要があります。

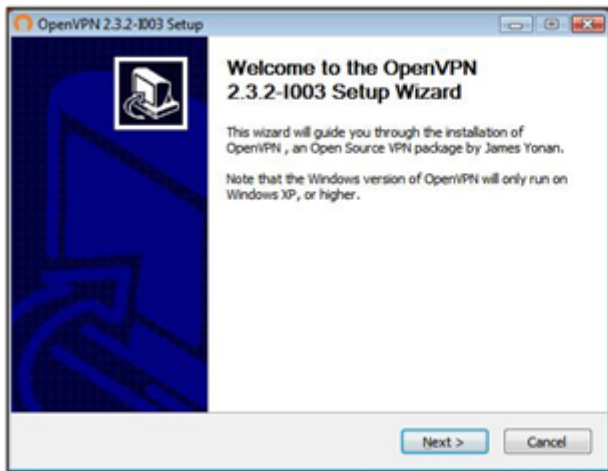
### Windows PCのOpenVPNソフトウェアのインストール

このソフトウェアは、ルーターへのVPN接続に使用する予定の各Windows PCにインストールする必要があります。

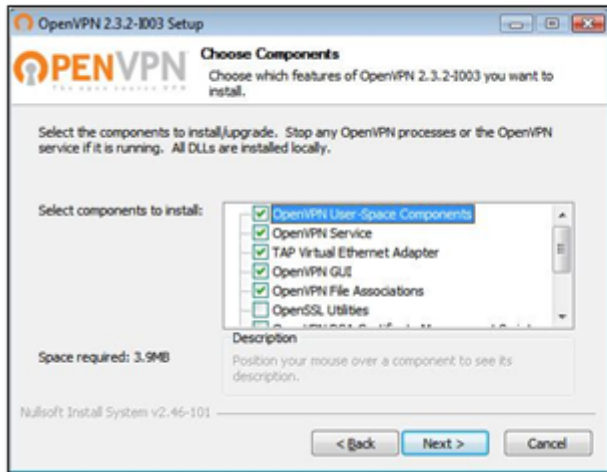
#### Windows PCにVPNクライアントソフトウェアをインストールします。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの**［基本］**の**［ホーム］**ページが表示されます。

4. [高度] > [高度な設定] > [VPNサービス] を選択します。  
[VPNサービス] ページが表示されます。
5. [VPNサービスを有効にする] チェックボックスが選択されていることを確認します。
6. ページで任意のVPNサービス設定を指定します。  
詳細については、「[VPNサービスの設定](#)（117ページ）」を参照してください。
7. [Windows用] ボタンをクリックし、OpenVPNの設定ファイルをダウンロードします。
8. OpenVPNクライアントユーティリティをダウンロードするには、  
[openvpn.net/community-downloads/](https://openvpn.net/community-downloads/)にアクセスしてください。
9. ページの [Windows Installer] のカテゴリで、**openVPN-install-xxx.exe** リンクをダブルクリックします。
10. Open VPNソフトウェアをPCにダウンロードしてインストールするには、  
**openVPN-install-xxx.exe** ファイルをクリックします。



11. [Next (次へ)] ボタンをクリックします。
12. 求められたら、使用許諾契約書を読んで [I Agree (同意する)] ボタンをクリックします。

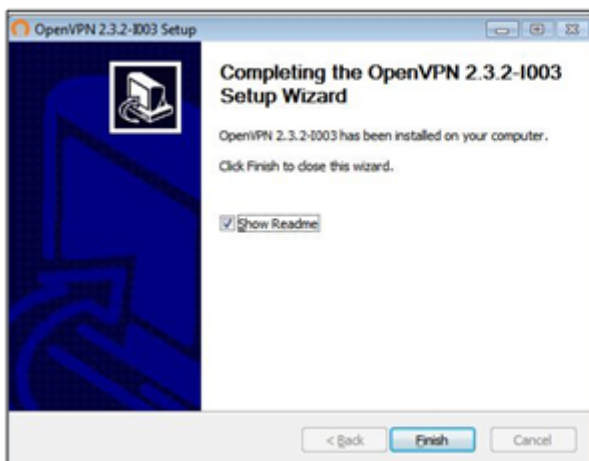


13. チェックボックスを選択した状態にして、[Next (次へ)] ボタンをクリックします。
14. インストール先フォルダーを指定するには、[Browse (参照)] ボタンをクリックし、インストール先フォルダーを選択します。



15. [Install (インストール)] ボタンをクリックします。

ウィンドウにインストールの進行状況が表示され、その次に、最後のインストールページが表示されます。





16. **[Finish (完了)]** ボタンをクリックします。
17. ダウンロードした設定ファイルを解凍し、VPNクライアントがインストールされている、デバイス上のフォルダーにコピーします。  
Windows 64ビットシステムのクライアントデバイスの場合、VPNクライアントはデフォルトではC:\Program Files\OpenVPN\config\にインストールされています。
18. Windowsのクライアントデバイスの場合は、VPNインターフェイス名を**NETGEAR-VPN**に変更します。
  - a. PCで、**[ネットワーク]** ページに移動します。Windows 10を使用している場合は、**[コントロールパネル]>[ネットワークと共有センター]>[アダプターの設定の変更]** を選択します。
  - b. ローカルエリア接続のリストで、デバイス名が**TAP-Windows Adapter**であるローカルエリア接続を見つけます。
  - c. そのローカルエリア接続を選択し、接続の名前（機器名とは異なります）を**NETGEAR-VPN**に変更します。

VPNインターフェイス名を変更しないと、VPNトンネル接続が失敗します。

Windows PCでのOpenVPNの使用の詳細については、  
<https://openvpn.net/index.php/open-source/documentation/howto.html#quick>を参照してください（英語）。

## Mac PCのOpenVPNソフトウェアのインストール

OpenVPNソフトウェアは、ルーターへのVPN接続に使用する予定の各Macにインストールする必要があります。

### VPNクライアントソフトウェアをMacにインストールします。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの**[基本]** の**[ホーム]** ページが表示されます。
4. **[高度]>[高度な設定]>[VPNサービス]** を選択します。

[VPNサービス] ページが表示されます。

5. **[VPNサービスを有効にする]** チェックボックスが選択されていることを確認します。
6. ページで任意のVPNサービス設定を指定します。  
詳細については、「[VPNサービスの設定（117ページ）](#)」を参照してください。
7. **[Mac OS X用]** ボタンをクリックし、OpenVPNの設定ファイルをダウンロードします。
8. <https://tunnelblick.net/index.html> にアクセスし、Mac OS X用のOpenVPNクライアントユーティリティをダウンロードします。
9. ファイルをダウンロードしてインストールします。
10. ダウンロードした設定ファイルを解凍し、VPNクライアントがインストールされている、デバイス上のフォルダーにコピーします。  
クライアントユーティリティは必ず管理者権限でインストールしてください。  
Mac PCでのOpenVPNの使用方法の詳細については、  
<https://openvpn.net/vpn-server-resources/installation-guide-for-openvpn-connect-client-on-macos/>  
を参照してください。

## iOSデバイスのOpenVPNソフトウェアのインストール

OpenVPNソフトウェアは、ルーターへのVPN接続に使用する予定の各iOSデバイスにインストールする必要があります。

### VPNクライアントソフトウェアをiOSデバイスにインストールします。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの**[基本]** の**[ホーム]** ページが表示されます。
4. **[高度] > [高度な設定] > [VPNサービス]** を選択します。  
[VPNサービス] ページが表示されます。
5. **[VPNサービスを有効にする]** チェックボックスが選択されていることを確認します。
6. ページで任意のVPNサービス設定を指定します。

詳細については、「[VPNサービスの設定](#)（117ページ）」を参照してください。

7. **[スマートフォン用]** ボタンをクリックし、OpenVPNの設定ファイルをダウンロードします。
8. iOSデバイスで、Apple社のApp StoreからOpenVPN Connectアプリをダウンロードしてインストールします。
9. PCで、ダウンロードした設定ファイルを解凍してiOSデバイスに送信します。  
.ovpnファイルを開くと、アプリのリストが表示されます。OpenVPN Connectアプリを選択して.ovpnファイルを開きます。

iOSデバイスでのOpenVPNの使用の詳細については、  
[http://www.vpngate.net/en/howto\\_openvpn.aspx#ios](http://www.vpngate.net/en/howto_openvpn.aspx#ios) を参照してください（英語）。

## AndroidデバイスのOpenVPNソフトウェアのインストール

OpenVPNソフトウェアは、ルーターへのVPN接続に使用する予定の各Androidデバイスにインストールする必要があります。

### VPNクライアントソフトウェアをAndroidデバイスにインストールします。

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. **[高度] > [高度な設定] > [VPNサービス]** を選択します。  
[VPNサービス] ページが表示されます。
5. **[VPNサービスを有効にする]** チェックボックスが選択されていることを確認します。
6. ページで任意のVPNサービス設定を指定します。  
詳細については、「[VPNサービスの設定](#)（117ページ）」を参照してください。
7. **[スマートフォン用]** ボタンをクリックし、OpenVPNの設定ファイルをダウンロードします。
8. Androidデバイスで、Google PlayストアからOpenVPN Connectアプリをダウンロードしてインストールします。

9. PCで、ダウンロードした設定ファイルを解凍してAndroidデバイスに送信します。
10. Androidデバイスでファイルを開きます。
11. OpenVPN Connectアプリを使用して、.ovpnファイルを開きます。  
AndroidデバイスでのOpenVPNの使用の詳細については、  
[http://www.vpngate.net/en/howto\\_openvpn.aspx#android](http://www.vpngate.net/en/howto_openvpn.aspx#android) を参照してください（英語）。

## Windows PCでVPNトンネルを使用

VPNを使用するようにルーターを設定し、PCにOpenVPNアプリケーションをインストールしたら、インターネット経由でPCからルーターまでVPNトンネルを開くことができます。

VPNトンネルが正しく機能するためには、リモートのルーターのローカルLAN IPアドレスで使われているLAN IP方式が、VPNクライアントPCが接続されているローカルLANのLAN IP方式とは異なっている必要があります。両方のネットワークが同じLAN IP方式を使用していると、VPNトンネルが確立されたときにOpenVPNソフトウェアで家庭のルーターやホームネットワークにアクセスすることができません。

本ルーターのデフォルトのLAN IPアドレス方式は、192. x. x. xです。最もよく使われるIP方式は、192. x. x. x、172. x. x. x、および10. x. x. xです。競合が発生する場合は、ホームネットワークのIP方式、またはVPNクライアントPCが属するネットワークのIP方式のいずれかを変更してください。これらの設定の変更については、「[LAN TCP/IP設定の変更（64ページ）](#)」を参照してください。

## VPNトンネルを開きます。

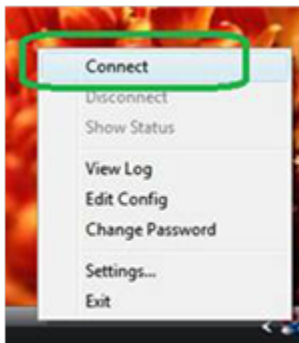
1. 管理者権限を使用してOpenVPNアプリケーションを起動します。



図 5 : Windowsタスクバーに [OpenVPN] アイコンが表示されます。

ヒント: VPNプログラムへのショートカットを作成し、そのショートカットを使用して設定にアクセス、**[管理者として実行]** チェックボックスを選択します。こうすると、このショートカットを使用するたびに、OpenVPNが管理者権限で自動的に実行されます。

2. **[OpenVPN]** アイコンを右クリックします。



3. **[接続]** を選択します。

VPN接続が確立されます。Webブラウザを起動して、ルーターにログインできます。

## VPNで自宅のネットワークにアクセス

外出先でインターネットにアクセスするときには、通常、ローカルのインターネットサービスプロバイダーを使用します。例えば、コーヒーショップでは、その店のインターネットサービスアカウントを使用してWebページを閲覧できるようにするコードが提供されることがあります。

Orbi Proでは、外出しているときに、VPN接続を使用して、自分が利用中のインターネットサービスにアクセスできます。家で使用しているインターネットサービスが利用できない場所に旅行する場合などでも使えます。

## VPNクライアントのインターネットアクセス

デフォルトでは、ルーターはホームネットワークに対するVPN接続のみを許可するように設定されていますが、インターネットアクセスを許可するように設定を変更できます。VPN経由でリモートからインターネットにアクセスすると、インターネットに直接アクセスするより速度が遅い場合があります。

**VPNクライアントに自宅のホームネットワークの使用を許可します。**

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「**[高度] > [高度な設定] > [VPNサービス]**」を選択します。  
「VPNサービス」ページが表示されます。
5. 「**[VPNサービスを有効にする]**」ラジオボタンを選択します。
6. 「**[クライアントはアクセスにこのVPN接続を使用します。]**」セクションまで下にスクロールして、「**[インターネットおよびホームネットワーク上のすべてのサイト]**」ラジオボタンを選択します。  
ローカルのインターネットサービスを使用する代わりにVPN接続を使用してインターネットにアクセスするときには、ホームネットワークからインターネットサービスを使用します。
7. 「**[適用]**」ボタンをクリックします。  
設定が保存されます。

# ルーターでVPNクライアントのインターネットアクセスをブロック

デフォルトでは、VPNはホームネットワークへの接続だけを許可し、ホームネットワークからのインターネットサービスへの接続は許可しないように設定されています。この設定は、インターネットアクセスを許可するように変更しても、元に戻すことができます。

**VPNクライアントにホームネットワークへのアクセスのみを許可します。**

1. Orbiネットワークに接続されているPCやモバイルデバイスでWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. 管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。パスワードは、最初のログイン時に指定したものです。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. 「**高度**」>「**高度な設定**」>「**VPNサービス**」を選択します。  
「VPNサービス」ページが表示されます。
5. 「**VPNサービスを有効にする**」ラジオボタンを選択します。
6. 「**クライアントはアクセスにこのVPN接続を使用します。**」セクションまで下にスクロールして、「**ホームネットワークのみ**」ラジオボタンを選択します。  
これはデフォルトの設定です。VPN接続は、ホームネットワークに対してのみで、ホームネットワークのインターネットサービスに対しては許可されません。
7. 「**適用**」ボタンをクリックします。  
設定が保存されます。

# VPNトンネル経由で自宅のインターネットサービスにアクセス

自宅のホームネットワークにアクセスします。

1. 自宅のホームネットワークへのVPNアクセスを許可するようにルーターを設定します。  
「VPNサービスの設定」（117ページ）を参照してください。
2. PCで、OpenVPNアプリケーションを起動します。  
Windowsタスクバーに [OpenVPN] アイコンが表示されます。
3. アイコンを右クリックし、**[接続]** をクリックします。
4. VPN接続が確立されたら、インターネットブラウザを開きます。



# 9

## トラブルシューティング

---

この章では、Orbiルーターまたはサテライトで発生する可能性のある問題の診断と解決に役立つ情報を提供します。この章で解決策が見つからない場合は、<https://jp.netgear.com/support/>にあるNETGEARサポートサイトで製品や連絡先の情報をご確認ください。

この章には次の内容が含まれます。

- ・ [トラブルシューティングのヒント](#)
- ・ [ルーターとサテライトが同期しない](#)
- ・ [ルーターにログインできない](#)
- ・ [インターネットにアクセスできない](#)
- ・ [インターネット閲覧のトラブルシューティング](#)
- ・ [PPPoEのトラブルシューティング](#)
- ・ [無線LAN接続のトラブルシューティング](#)
- ・ [pingユーティリティを使用したネットワークのトラブルシューティング](#)

# トラブルシューティングのヒント

このセクションでは、一般的ないくつかのトラブルシューティングのヒントを示します。

## ネットワークを再起動する手順

ネットワークを再起動する場合は、以下の手順に従います。

1. モデムの電源を切り、電源コードを抜きます。
2. ルーターの電源をオフにします。
3. モデムの電源コードを接続し、電源を入れます。  
2分間待ちます。
4. ルーターの電源を入れ、2分間待ちます。

## 無線LAN設定

WiFi対応PCまたはモバイルデバイスとルーターのWiFi設定が一致していることを確認します。

無線LANネットワーク名（SSID）と無線LANセキュリティの設定が完全に一致している必要があります。

アクセスリストを設定する場合は、各WiFi対応PCまたはモバイルデバイスのMACアドレスをルーターのアクセスリストに追加する必要があります。

## ネットワーク設定

子機のネットワーク設定が正しいことを確認します。有線や無線で接続される子機は、ルーターと同じネットワーク上のネットワーク（IP）アドレスを使用する必要があります。最も簡単な方法は、DHCPを使用してIPアドレスを自動的に取得するようにそれぞれの子機を設定することです。

一部のプロバイダーでは、最初にアカウントに登録された子機のMACアドレスを使用する必要があります。MACアドレスは、[接続デバイス] ページで参照できます。

## ルーターとサテライトが同期しない

ルーターとサテライトの同期に問題がある場合は、同期中にサテライトをルーターと同じ部屋に移動することをお勧めします。その後、サテライトを別の場所に移動します。

ルーターとサテライトを同期するには、次の手順を実行します。

1. サテライトをルーターと同じ部屋に設置します。  
サテライトをこの配置にするのは、同期プロセスの間のみです。
2. サテライトを電源に接続します。
3. サテライトLEDが白またはマゼンタで点灯するまで待ちます。
4. **ルーター**のSyncボタンを押し、2分以内に**サテライト**のSyncボタンを押しします。
5. サテライトが点灯するまで待ちます。  
サテライトLEDは、ルーターとの同期を試行している間、白色に点滅します。LED は白色に点滅した後、次のいずれかの色で点灯します。
  - ・ **青**: Orbiルーターとサテライトの同期が完了しました。接続状態は良好です。
  - ・ **オレンジ**: Orbiルーターとサテライトの同期に失敗しました。手順4をもう一度繰り返します。同期ができない場合は、サテライトをルーターに近い場所に移動して試します。
6. サテライトの場所を移動して、電源に接続します。
7. 新しい場所で、サテライト LEDが青色に点灯することを確認してください。  
サテライトの LED が青色に点灯する場合、サテライトは正常に同期しています。サテライトのLEDがオレンジに点灯した場合は、サテライトをルーターの近くに移動して、もう一度試してください。ルーターに正しく接続するには、サテライトがルーターの WiFi カバーエリアの範囲内にある必要があります。

## ルーターにログインできない

PCまたはモバイルデバイスがOrbi WiFiネットワークに接続されていることを確認してください。WiFi接続を使用しない場合は、LANケーブルを使用してルーターにPCを接続できます。

変更した管理者パスワードを忘れた場合は、管理者パスワードのリセット（91ページ）を参照してください。

# インターネットにアクセスできない

ネットワーク接続およびインターネット接続を確認します。

1. WiFi対応PCまたはモバイルデバイスがOrbiネットワークに接続されていることを確認します。
2. Orbiには接続されているが、インターネットにアクセスできない場合は、インターネット接続が機能しているかどうかを確認します。
3. ネットワークに接続されているPCや無線LAN子機でWebブラウザを開きます。
4. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
5. ルーターの管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
6. 「高度」タブをクリックします。  
ルーター管理者ページの「高度」の「高度な機能のホーム」ページが表示されます。
7. インターネットポートのIPアドレスが表示されることを確認します。

0.0.0.0が表示されている場合、ルーターはインターネットサービスプロバイダー (ISP) からIPアドレスを取得していません。

ルーターがIPアドレスを取得できない場合は、ネットワークを再起動して、ゲートウェイに新しいルーターを強制的に認識させることもできます。詳細については、「[ネットワークを再起動する手順](#) (130ページ)」を参照してください。

それでもルーターがプロバイダーからIPアドレスを取得できない場合、問題は以下のいずれかである可能性があります。

- ・ ご利用のプロバイダーではログインプログラムが必要な可能性があります。プロバイダーに、PPPoE (PPP over Ethernet) やその他のタイプのログインが必要かどうかをお問い合わせください。
- ・ プロバイダーでログインが必要な場合、ログイン名とパスワードが正しく設定されていない可能性があります。

- ・ プロバイダーがご利用のPCのホスト名をチェックしている可能性があります。[インターネット設定] ページで、プロバイダーアカウントのPCホスト名をアカウント名として割り当ててください。
- ・ プロバイダーで許可される、インターネットに接続するためのMACアドレスが1つだけで、PCのMACアドレスを調べている場合は、以下のいずれかを実行します。
  - － 新しいネットワーク機器を購入したことをプロバイダーに連絡し、ルーターのMACアドレスを使用するように依頼します。
  - － PCのMACアドレスのクローンを作成するようにルーターを設定します。

## インターネット閲覧のトラブルシューティング

ルーターがIPアドレスを取得できても、PCがインターネットのWebページを表示できない場合は、次のいずれかの原因が考えられます。

- ・ トラフィックメーターが有効になっていて、限度に達しました。  
トラフィック制限に達してもトラフィックメーターがインターネットアクセスをブロックしないように設定すれば、インターネットアクセスを再開できます。プロバイダーが使用制限を設定している場合は、超過分に対して課金されることがあります。
- ・ PCがどのDNSサーバーのアドレスも認識していない可能性があります。DNSサーバーは、インターネット名（wwwアドレスなど）を数値のIPアドレスに変換するインターネット上のホストです。  
一般に、プロバイダーはユーザーが使用するために、1台または2台のDNSサーバーのアドレスを提供します。ルーターの設定中にDNSアドレスを入力した場合は、PCを再起動します。  
または、お使いのPCのマニュアルを参照し、手動でDNSアドレスを指定してPCを設定できます。
- ・ お使いのPCでルーターがデフォルトゲートウェイとして設定されていない可能性があります。  
PCを再起動し、PCでルーターのアドレス（www.routerlogin.net）がデフォルトゲートウェイアドレスとして表示されることを確認します。
- ・ 必要でなくなったログインソフトウェアを実行している可能性があります。ISPからインターネットにログインするプログラムが提供されている場合は、ルーターのインストール後にそのソフトウェアを実行する必要はありません。Internet Explorerに移動し、[ツール]>[インターネットオプション]と選択し、[接続] タブをクリックして、[ダイヤルしない]を選択する必要がある場合があります。ほかのブラウザーにも類似のオプションが用意されています。

# PPPoEのトラブルシューティング

PPPoEを使用している場合は、インターネット接続のトラブルシューティングを試みてください。

## PPPoE接続のトラブルシューティングを行います。

1. ネットワークに接続されているPCや無線LAN子機でWebブラウザを開きます。
2. 「**orbilogin.com**」と入力します。  
ログインウィンドウが開きます。
3. ルーターの管理者ユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名は「**admin**」です。デフォルトのパスワードは「**password**」です。ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。  
管理者ページの「基本」の「ホーム」ページが表示されます。
4. **[高度]** タブをクリックします。  
ルーター管理者ページの「高度」の「高度な機能のホーム」ページが表示されます。
5. 「インターネットポート」のカテゴリで、**[接続ステータス]** ボタンをクリックします。  
「接続ステータス」ウィンドウが開きます。
6. 「接続ステータス」ウィンドウを調べて、PPPoE接続がアクティブで動作中であるかどうかを確認します。  
ルーターが接続されていない場合は、**[接続]** ボタンをクリックします。  
ルーターは無期限に接続を試み続けます。
7. 数分経過しても接続できない場合は、ルーターの設定に使用しているサービス名、ユーザー名、またはパスワードが正しくないか、プロバイダーで問題が発生している可能性があります。  
手動で接続する場合を除き、ルーターはデータがネットワークに転送されるまで、PPPoEを使用して認証を行いません。

# 無線LAN接続のトラブルシューティング

Orbi無線LANネットワークへの接続に問題が発生している場合は、問題の切り分けを行います。

- ・ WPCまたはモバイルデバイスはWiFiネットワークを検出できますか？
- ・ WiFi対応デバイスは、WiFiネットワーク（WPA3、WPA2、またはWPA）に使用しているセキュリティをサポートしていますか？
- ・ ルーターのWiFi設定を表示するには、LANケーブルを使用してPCをルーターのLANポートに接続します。次に、ルーターにログインして、**[基本] > [ワイヤレス]** を選択します。

**注意:** 設定を変更したら必ず **[適用]** ボタンをクリックしてください。

- ・ 5 GHz の WiFi に接続しようとしている場合は、お使いの無線LAN子機が 5Ghz をサポートしているかご確認ください。
- ・ PCまたは無線LANデバイスで、WiFiホットスポットなど、エリア内の別の無線LANネットワークに自動的に接続できましたか？

## pingユーティリティを使用したネットワークのトラブルシューティング

ほとんどのネットワーク機器やルーターには、指定した機器にエコー要求パケットを送信するpingユーティリティが用意されています。エコー要求が送られると、デバイスはエコー応答を返します。PCまたはワークステーションでpingユーティリティを使用して、簡単にネットワークのトラブルシューティングを行うことができます。

### ルーターへのLANパスをテストする

PCからルーターにpingし、ルーターへのLANのパスが正しく設定されていることを確認できます。

**Windows PCからルーターにpingします。**

1. Windowsツールバーの **[スタート]** ボタンをクリックし、**[ファイル名を指定して実行]** を選択します。
2. 次の例に示すように、「**ping**」に続けて、ルーターのIPアドレスを入力します。

**ping www.routerlogin.net**

3. [OK] ボタンをクリックします。

次のようなメッセージが表示されます。

#### **Pinging < IP address > with 32 bytes of data**

パスが正しく機能していれば、次のようなメッセージが表示されます。

**Reply from < IP address >: bytes=32 time=NN ms TTL=xxx**

パスが正しく機能していない場合は、次のようなメッセージが表示されます。

#### **Request timed out**

パスが正しく機能していない場合は、以下のいずれかの問題が発生している可能性があります。

- ・ ケーブルの接続に不具合がある  
使用中のネットワークデバイスに対して、適切なLEDが点灯していることを確認してください。ルーターとPCが他のスイッチに接続されている場合は、PCとルーターが接続済みのポートのリンクLEDが点灯していることを確認します。
- ・ ネットワーク設定に不具合がある  
イーサネットカードのドライバーソフトウェアとTCP/IPソフトウェアがどちらも子機にインストールされ、設定されていることを確認してください。  
ルーターと子機のIPアドレスが正しいこと、およびアドレスが同じサブネット上にあることを確認してください。

## PCからリモートデバイスへのパスをテストする

LANのパスが正しく機能していることを確認した後は、PCからリモートデバイスへのパスをテストします。

**PCからリモートデバイスへのパスをテストします。**

1. Windowsツールバーの [スタート] ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行] を選択します。
2. Windowsの [ファイル名を指定して実行] ウィンドウで、次のように入力します。

**ping -n 10 <IP address>**

<IP address>には、プロバイダーのDNSサーバーのようなりモートデバイスのIPアドレスが入ります。

パスが正しく機能している場合は、「ルーターへのLANパスをテストする (135ページ)」に示したようなメッセージが表示されます。

応答が受信されない場合は、以下のことを確認してください。

- ・ ルーターのIPアドレスがPCのデフォルトゲートウェイとして表示されていることを確認します。DHCPがPCのIP設定を割り当てている場合、この情報はPCの [ネットワー



ク] コントロールパネルには表示されません。ルーターのIPアドレスがデフォルトゲートウェイとして表示されることを確認してください。

- ・ PCのネットワークアドレス（サブネットマスクによって指定されるIPアドレスの部分）が、リモートデバイスのネットワークアドレスとは異なっていることを確認します。
- ・ ケーブルモデムまたはDSLモデムが接続されていて、機能していることを確認します。
- ・ プロバイダーがPCにホスト名を割り当てた場合は、[インターネット設定] ページで、そのホスト名をアカウント名として入力します。
- ・ プロバイダーが、1台を除くすべてのPCのMACアドレスを拒否している可能性があります。

多くのプロバイダーは、ブロードバンドモデムのMACアドレスからのトラフィックのみを許可することで、アクセスを制限しています。一部のプロバイダーではさらに、そのモデムに接続された1台のPCのMACアドレスへのアクセスも制限されます。ご利用のプロバイダーが制限する場合は、承認されたPCのMACアドレスの“クローン”または“スプーフィング”を行うようにルーターを設定してください。

# A

## 工場出荷時の設定と技術仕様

この付録には次の内容が含まれます。

- ・ 初期設定
- ・ 技術仕様

# 初期設定

ルーターまたはサテライトを工場出荷時の設定に初期化することができます。ペーパークリップなどの先端の細いものを使用して、ルーターまたはサテライトの背面にあるリセットボタンを、ルーターまたはサテライトのLEDが点滅するまで7秒以上押し続けます。ルーターまたはサテライトがリセットされ、工場出荷時の設定に戻ります。

## Orbi WiFi 6 Microルーター (RBR350) の工場出荷時設定

RBR350の工場出荷時のデフォルト設定を次の表に示します。

表 6: ルーターの工場出荷時の初期設定

機能	デフォルトの設定
<b>ルーターのWeb管理者ページへのログイン</b>	
URL にログイン	orbilogin.com
ログインユーザ名（大文字と小文字を区別）	admin
デフォルトのログインパスワード（大文字と小文字を区別）	password（初期セットアップ時に設定）
<b>インターネット接続</b>	
MACアドレス	デフォルトのハードウェアアドレスを使う
WAN MTUサイズ	1500
ポート速度	自動検知
<b>ローカルネットワーク (LAN)</b>	
LAN IP	192.168.1.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCPサーバー	有効
DHCP範囲	192.168.1.2~192.168.1.254
DHCP開始IPアドレス	192.168.1.2
DHCP終了IPアドレス	192.168.1.254
DMZ	無効

表 6: ルーターの工場出荷時の初期設定 (続き)

機能	デフォルトの設定
タイムゾーン	WWIはGMT NAおよびCNはGMT-8 AUはGMT+10 JPはGMT+9 PRはGMT+8 INはGMT+5:30
タイムゾーンを夏時間に合わせて調整	無効
SNMP	無効
<b>ファイアウォール</b>	
インバウンド（インターネットからの通信）	無効
アウトバウンド（インターネットへの通信）	有効（すべて）
ソースMACフィルタ	無効
<b>WiFi</b>	
WiFi通信	有効
SSID名	ルーターラベルを参照
セキュリティ	WPA2-PSK（AES）
ブロードキャストSSID	有効
転送速度	自動 メモ：IEEE802.11標準に基づく最大ワイヤレス速度。実際の処理能力は異なります。ネットワーク状況、作業環境（ネットワークトラフィック量、建材、構造、ネットワークオーバーヘッドなど）が実際のデータ処理速度に影響します。
国/地域	地域によって異なります
2.4Ghzフロントホール	自動
2.4Ghzバックホール	自動

表 6: ルーターの工場出荷時の初期設定 (続き)

機能	デフォルトの設定
5GHz フロントホール	NAおよびPR: チャンネル157 WWおよびJP: チャンネル108
RFチャンネル5GHzバックホール	NAおよびPR: チャンネル157 WWおよびJP: チャンネル108

## Orbi WiFi 6 サテライト (RBS350) の工場出荷時設定

RBS350の工場出荷時のデフォルト設定を次の表に示します。

表 7: サテライトの工場出荷時のデフォルト設定

機能	デフォルトの設定
<b>サテライトのWeb管理者ページにログイン</b>	
URL にログイン	サテライトのIPアドレス
ログインユーザ名 (大文字と小文字を区別)	admin
デフォルトのログインパスワード (大文字と小文字を区別)	password (初期セットアップ時に設定)
<b>インターネット接続</b>	
MACアドレス	デフォルトのハードウェアアドレスを使う
WAN MTUサイズ	1500
ポート速度	自動検知
<b>ローカルネットワーク (LAN)</b>	
LAN IP	192.168.1.250
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCPサーバー	無効
DMZ	無効
タイムゾーン	WWはGMT NAおよびCNはGMT-8 AUはGMT+10 JPはGMT+9 PRはGMT+8 INはGMT+5:30

表 7: サテライトの工場出荷時のデフォルト設定 (続き)

機能	デフォルトの設定
タイムゾーンを夏時間に合わせて調整	無効
SNMP	無効
<b>ファイアウォール</b>	
インバウンド（インターネットからの通信）	有効（すべて）
アウトバウンド（インターネットへの通信）	有効（すべて）
ソースMACフィルタ	無効
<b>WiFi</b>	
WiFi通信	有効
SSID名	サテライトのラベルを参照
セキュリティ	WPA2-PSK（AES）
ブロードキャストSSID	有効
転送速度	自動 メモ：IEEE802.11標準に基づく最大ワイヤレス速度。実際の処理能力は異なります。ネットワーク状況、作業環境（ネットワークトラフィック量、建材、構造、ネットワークオーバーヘッドなど）が実際のデータ処理速度に影響します。
国/地域	地域によって異なります
2.4GHzフロントホール	自動
2.4GHzバックホール	自動
5GHzフロントホール	NAおよびPR：チャンネル157 WWおよびJP：チャンネル108
RFチャンネル5GHzバックホール	NAおよびPR：チャンネル157 WWおよびJP：チャンネル108

# 技術仕様

ルーターとサテライトの技術仕様を以下に示します。

## Orbi WiFi 6 Microルーター (RBR350) の技術仕様

RBR350の技術仕様を次の表に示します。

表 8: ルーターの技術仕様

機能	説明
データとルーティングプロトコル	TCP/IP、RIP-1、RIP-2、DHCP、PPPoE、PPTP、Bigpond、ダイナミックDNS、UPnP、SMB
電源アダプター	北アメリカ: 120V、60 Hz、入力 UK、オーストラリア: 240V、50 Hz、入力 ヨーロッパ: 230V、50 Hz、入力 すべての地域 (出力): 12V、3.5A DC出力
サイズ	144.78x177.8x60.96mm (5.7x7.0x2.4インチ)
重量	662.24g (1.46ポンド)
動作保証温度	0~40 °C
動作保証湿度	最大90%、結露なきこと
認証	FCC Part 15、Subpart B、Class B IECS-003、クラス B EN 55032、EN 55035、クラス B AS/NZS CISPR 32、クラス B
LAN	10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T、RJ-45と互換性があります
WAN	10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T、RJ-45と互換性があります
WiFi	最大無線LAN信号速度はIEEE802.11標準に準拠。 メモ: IEEE802.11標準に基づく最大ワイヤレス速度。実際の処理能力は異なります。ネットワーク状況、作業環境 (ネットワークトラフィック量、建材、構造、ネットワークオーバーヘッドなど) が実際のデータ処理速度に影響します。
無線データ速度	2.4 GHz: 最大574Mbps 5GHz: 最大1201Mbps
バンド1	IEEE802.11b/g/n/ax 2.4GHz: 1024-QAMサポート
バンド2	IEEE802.11a/n/ac/ax 5GHz: 1024-QAMサポート

表 8: ルーターの技術仕様 (続き)

機能	説明
無線ネットワークごとの最大PC数	ノードごとに生成されるWiFiネットワークトラフィック量によって制限 (通常は50~70ノード) 2.4 GHz: 127 5Ghz (フロントホール): 127
2.4GHz使用周波数帯	2.412~2.472Ghz (欧州ETSI、日本、および中国) 2.412~2.462 GHz (US)
5GHz使用周波数帯	5.18~5.24GHzおよび5.745~5.825GHz (米国および中国) 5.18~5.24GHzおよび5.5~5.7GHz (ヨーロッパおよび日本)
802.11セキュリティ	WPA2-PSK [AES] WPA-PSK [TKIP] + WPA2-PSK [AES] WPA3パーソナル [SEE]

## Orbi WiFi 6 Microサテライト (RBS350) の技術仕様

RBS350の技術仕様を次の表に示します。

表 9: サテライトの技術仕様

機能	説明
データとルーティングプロトコル	TCP/IPおよびDHCP
電源アダプター	北アメリカ: 120V、60 Hz、入力 UK、オーストラリア: 240V、50 Hz、入力 ヨーロッパ: 230V、50 Hz、入力 すべての地域 (出力): 12V、1.5A DC出力
サイズ	144.78x177.8x60.96mm (5.7x7.0x2.4インチ)
重量	530.703g (1.17ポンド)
動作保証温度	0~40 °C
動作保証湿度	最大90%、結露なきこと
認証	FCC Part 15、Subpart B、Class B IECS-003、クラス B EN 55032、EN 55035、クラス B AS/NZS CISPR 32、クラス B
LAN	10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T、RJ-45と互換性があります



表 9: サテライトの技術仕様 (続き)

機能	説明
WiFi	最大無線LAN信号速度はIEEE802.11標準に準拠。 メモ: IEEE802.11標準に基づく最大ワイヤレス速度。実際の処理能力は異なります。ネットワーク状況、作業環境（ネットワークトラフィック量、建材、構造、ネットワークオーバーヘッドなど）が実際のデータ処理速度に影響します。
無線データ速度	2.4 GHz: 最大574Mbps 5GHz: 最大1201Mbps
バンド1	IEEE802.11b/g/n/ax 2.4GHz: 1024-QAMサポート
バンド2	IEEE802.11a/n/ac/ax 5GHz: 1024-QAMサポート
無線ネットワークごとの最大PC数	ノードごとに生成されるWiFiネットワークトラフィック量によって制限 (通常は50~70ノード) 2.4 GHz: 127 5Ghz (フロントホール): 127
2.4GHz使用周波数帯	2.412~2.472GHz (欧州ETSI、日本、および中国) 2.412~2.462 GHz (US)
5GHz使用周波数帯	5.18~5.24GHzおよび5.745~5.825GHz (米国および中国) 5.18~5.24GHzおよび5.5~5.7GHz (ヨーロッパおよび日本)
802.11セキュリティ	WPA2-PSK [AES] WPA-PSK [TKIP] + WPA2-PSK [AES] WPA3パーソナル [SEE]